このテレビの修理、お取扱い方法について、ご不明な点がありましたら、「ソニーテクニカルインフォメーションセンター」にご相談ください。

ソニーテクニカルインフォメーションセンター(直通番号)
- ● ナビダイヤル……………………… 0570-00-6470
  （全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
- ● 携帯電話・ＰＨＳでのご利用は …… 0586-25-6470
  （ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土･日･祝日 9:00～17:00

上記の「ソニーテクニカルインフォメーションセンター」に電話がつながりにくい場合やお買い物相談については、下記の「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。
下記の「お客様ご相談センター」への修理、お取扱い方法についてのご相談は、自動音声ガイダンスにしたがって、まずは＜2：使用方法や故障と思われるご相談＞を、次に＜商品カテゴリー＞の番号を押してください。
専門の相談員が対応します。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/
「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター
- ● ナビダイヤル*………………… 0570-00-3311
  （全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
- ● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
  （ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
- ● FAX……………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし, 内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。
1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙を使用しています。

Printed in Japan

2-639-848-**04**(1)

SONY

設置・接続編

別冊の「操作・困ったときは編」もご覧ください。

液晶デジタルテレビ 取扱説明書

KDL-40X1000
KDL-46X1000

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「操作・困ったときは編」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次　設置・接続編

安全のために …… 6

使用上のご注意 …… 13

〈液晶テレビ〉安全点検チェックリスト …… 16

はじめにお読みください …… 18

付属品を確かめる …… 18

スタンドに設置する・転倒防止の措置をする …… 19

準備の前に …… 22

テレビの接続 …… 24

準備1：B-CASカード（デジタル放送用ICカード）を挿入する …… 24

準備2：アンテナをつなぐ …… 25
- 地上波・衛星混合アンテナにつなぐ …… 25
- 地上波アンテナと衛星アンテナを別々につなぐ …… 26
- アンテナをつなぐときのご注意 …… 27

準備3：データ放送を楽しむための接続をする …… 28

準備4：インターネットを楽しむための接続をする …… 29

準備5：電源コードとアース線をつなぐ …… 30

受信設定 …… 31

準備6：お買い上げ時の初期設定をする［かんたん設定］ …… 31

準備7：各放送局に視聴を申し込む …… 35

準備8：電話回線を設定する …… 36

地上アナログ放送の設定をする …… 38
- アンテナ接続方法を設定する …… 38
- 受信方法を設定する …… 38
- チャンネルを設定する …… 38
- 画面のノイズを軽減する …… 38

地上アナログ放送のチャンネル設定をする …… 39
- ワンタッチ選局できるチャンネルを変更する …… 39
- 表示チャンネルを設定する …… 39
- ガイドチャンネルを設定する …… 39
- チャンネル＋/－ボタンやホームメニューで選べるチャンネルを変更する …… 39
- ステレオ放送を自動設定する …… 39
- ゴーストの少ない映像にする …… 39

	地上アナログ放送の番組表(Gガイド)の設定をする ………… 40	現在時刻を設定する……40 地域番号を設定する……40 Gガイドの情報を取得するチャンネルを設定する…40 Gガイドの情報を取得する時刻を設定する……40
	地上デジタル放送の設定をする ………… 41	受信方法を設定する……41 チャンネルを自動設定する……41 地上デジタルのアンテナレベルを確認する ……41 画面のノイズを軽減する……42 地域設定する……42 放送局やチャンネルが増えたときに自動で受信できるようにする……42
	地上デジタル放送のチャンネル設定をする ………… 43	ワンタッチ選局できるチャンネルを変更する …43 チャンネル+/−ボタンや番組表で選べるチャンネルを変更する……43
	BS・110度CS放送の設定をする ………… 44	衛星アンテナ電源を設定する……44 衛星アンテナの向きを調整する……44 画面のノイズを軽減する……45 地域設定する……45
	BS・110度CS放送のチャンネル設定をする ………… 46	ワンタッチ選局できるチャンネルを変更する …46 チャンネル+/−ボタンや番組表で選べるチャンネルを変更する……46
	準備完了?チェックリスト ………… 47	
その他の設定 ………… 48	**通信設定をする** ………… 48	データ放送の通信設定をする……49
	個人情報を設定・消去する ………… 50	暗証番号や視聴年齢制限を設定する……50 個人情報を消去する……51

他機との接続 ………… 52

本機で再生するための接続 …… 52

録画するための接続 …… 54
- 本機の映像を録画するには……56
- つなぐ機器のチューナーを使って録画するためには……57
- AVマウスを設定する ……58

オーディオ機器をつなぐ …… 61

i.LINK(アイリンク)機器をつなぐ …… 62

ネットワーク機器をつなぐ …… 63
- ネットワーク機器の設定をする……64

パソコンやUSB機器をつなぐ …… 65

その他 ………… 66

Gガイドについて …… 66

地上デジタル放送・地域別チャンネル割り当て一覧表 …… 70

保証書とアフターサービス …… 72

主な仕様 …… 73

用語集 …… 75

接続端子の名前とはたらき …… 77

索引 …… 81

別冊「操作・困ったときは編」の目次

XMB(クロスメディアバー)で
広がる新しい世界
ホームメニュー一覧

テレビを見る
テレビ放送を見る
デジタル放送のラジオ/データ
放送を楽しむ
番組表で見たい番組を探す
お知らせを見る
テレビのその他の機能

番組を録画予約する
録画予約する
録画予約の内容を確認する

静止画を楽しむ
USB機器やネットワーク機器の
静止画を楽しむ

音楽を楽しむ
USB機器やネットワーク機器の
音楽を聞く

つないだ機器の映像を楽しむ
USB機器やネットワーク機器の
映像を見る
ビデオ機器の映像を見る
i.LINK機器の映像を見る
パソコン(PC)の映像を見る
本機のリモコンで他機器を操作する

多彩な画面で映像を楽しむ
2画面で楽しむ
ワイド画面で楽しむ

インターネットを楽しむ
ホームページを見る

設定/調整する
画質を調整する
音質を調整する
外部入出力の設定をする
パソコン(PC)入力の設定をする
その他の設定をする

各種情報について
デジタル放送について
録画制限と著作権保護について
本機の省エネ対応について
i.LINK(アイリンク)について
ネットワーク機器について

困ったときは
修理に出す前に
故障かな?と思ったら
電源スタンバイ中の動作について

その他
ダウンロードの流れについて
保証書とアフターサービス
用語集
各部の名前
索引

⚠警告 安全のために

ご使用の前に、この取扱説明書「設置・接続編」と「操作・困ったときは編」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

テレビは正しく使用すれば、事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、内部には電圧の高い部分があるので、間違った使いかたをすると、火災などにより死亡など人身事故になることがあり、危険です。事故を防ぐために次の事を必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この冊子の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

お買い上げ時とその後1年に1度は「安全点検チェックリスト」に従って点検してください。
1年に1度は内部の掃除を、5年に1度は点検をお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。（有料）
内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に掃除を行うと、より効果的です。
また、本機の通風孔付近にほこりが付着するときがありますが、付着がひどい場合、故障の原因となることがあります。掃除機などで1か月に1度、ほこりを吸い取ることをおすすめします。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店、またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たり、こげくさいにおいがしたら
- テレビを見ているときや、スタンバイ状態(画面が消えていて、本体のスタンバイランプが赤く点灯中)のときに、テレビ内部から異常な音がしたら
- 内部に水などが入ったら
- 内部に異物が入ったら
- テレビを落としたり、キャビネットを破損したりしたときは

❶電源を切る
❷電源プラグをコンセントから抜く
❸お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

風呂・シャワー室での使用禁止

接触禁止

行為を指示する記号

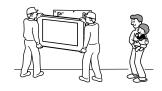
プラグをコンセントから抜く

指示

アース線を接続せよ

下記の注意を守らないと**火災・感電・破裂**により**死亡**や**大けが**などの人身事故が生じます。

壁に取り付ける場合は、必ず専用の壁掛けユニットを使用し、専門の業者に取り付けてもらう
また、設置の時は設置関係者以外近づかない

専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、本機が落下するなどして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。

本機を医療機関に設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

アース線を必ず接地する

壁のコンセントが2芯専用の場合は、必ずアース工事を行ってから、電源コードのアース線をアースへ接続してください。
感電の原因となりますので、アース工事は必ず専門業者にご依頼ください。

アース線をつなぐ順番を必ず守る

アース線をつなぐときは、必ず電源コードをコンセントにつなぐ前に行ってください。
また、アース線をはずすときは、必ず電源コードをコンセントからはずしたあとに行ってください。

アース線の金具部分を電源コンセントにさし込まない

火災や感電の原因となることがあります。

下記の注意を守らないと**火災・感電**により
死亡や**大けが**の原因となります。

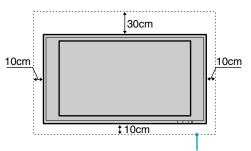
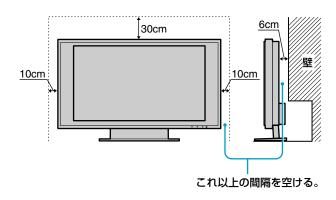
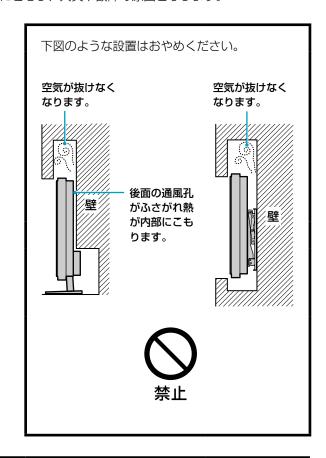
周囲に間隔を空ける

周囲に間隔を空けないで設置すると、通風孔がふさがれ熱が内部にこもり、火災や故障の原因となります。

壁に取り付けるとき

スタンドを使用するとき

下図のような設置はおやめください。

警告

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

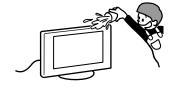
分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

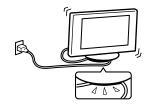
分解禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
万一電源コードが傷んだ場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

禁止

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

接触禁止

水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用には特にご注意ください。

風呂・シャワー室での使用禁止

目や口に液晶を入れない/ガラスの破片に触れない

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶(液状)が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがあります。この液晶やガラスの破片に素手で触れたり、口に入れたりしないでください。ガラスの破片に触れるとけがをするおそれがあります。また、漏れた液晶に素手で触れると中毒やかぶれの原因となります。においを嗅ぐこともやめてください。誤って、目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

禁止

ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換をご依頼ください。

禁止

次のことを守って、スタンドに本機を設置する

誤った取り付け方法で設置すると、本機が落下し、大けががをすることがあります。

- 各スタンドの取扱説明書の取り付け方法を必ず守る。
- 転倒防止の処置を必ず行う。転倒防止の処置をしないと、本機が倒れてけがの原因となることがあります。スタンドや床、壁などとの間に、適切な転倒防止の処置を行ってください。

⚠警告

火災

感電

下記の注意を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。
平らで充分に強度があり、落下しない所に置いてください。

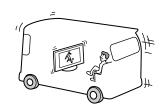
電源プラグは定期的にお手入れを

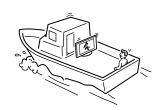
電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V（50/60Hz）以外では使用しない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により、火災の原因となります。
海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

乗物の中や天井に取り付けない

移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。

船舶の中などで使用しない

塩水をかぶり、発火や故障の原因となることがあります。

電源プラグをつなぐのは、他機器との接続が終わってから

コンセントに差したまま他機器と接続したりすると、感電の原因になることがあります。
他機器との接続が終わった後に、電源コードをセット本体につないでから電源プラグを壁のコンセントに差してください。

屋外や窓際で使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。

電源コードを抜くときはまず壁側コンセントから抜く

壁側コンセントから抜かないと感電することがあります。
抜くときは必ずコードでなくプラグをもって抜いてください。

正しい方法で運搬/移動する

誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。
大型テレビは重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。
運ぶときには、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。

⚠警告

火災

感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

本機にぶらさがらない

本機が壁からはずれたり、倒れたりして、本機の下敷きになり、大けがの原因となることがあります。

禁止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

本機の表面が割れたときは、電源プラグをコンセントから抜くまで本機に触れない

電源プラグをコンセントから抜かずに本機に触れると、感電の原因となることがあります。

接触禁止

本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

禁止

電源プラグのアースキャップなどは、幼児の手の届かないところに保管する

万一、誤って飲みこんだときは、窒息する恐れがありますので、ただちに医師にご相談ください。

⚠注意

下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。本機を壁に近づけすぎると、壁などにホコリが付着し、黒くなることがあります。風通しをよくするために、壁から距離を離して置いてください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- 棚や押入の中に置かない。
- ホットカーペットの上に置かない。
- 布をかけない。

禁止

移動させるときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

⚠注意

下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。

禁止

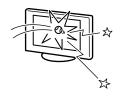
人が通行するような場所に置かないコード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続･配置してください。

禁止

ディスプレイ表面に物をぶつけない

ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。

禁止

銭湯や温泉の脱衣所に設置しない

温泉に含まれる硫黄などにより、硫化したり、高い湿度で本機が故障したりすることがあります。

禁止

油を使用する飲食店などでは使用しない

油を含んだほこりなどが、本機に入り、故障の原因となります。

禁止

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと危険です。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

アンテナの工事は電気店に依頼する

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、必ず電気店にご依頼ください。

使用上のご注意

使用・設置場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くようにしてください。

- 本機の底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。
- 壁に掛けて使用するときは必ず専用の壁かけユニット（別売り）を使用してください。

次のような場所での使用・設置はおやめください。

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近くなど、温度の高い場所
  変形したり、故障したりすることがあります。
- 振動の多い場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度な明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。

音量について

- 周辺の人の迷惑とならないよう適度な音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分にし、生活環境を守りましょう。
- ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。

液晶画面について

- 液晶画面を太陽に向けたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。屋外や窓際には置かないでください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

蛍光管について

本機は内部照明装置として専用蛍光管を使用しておりますが、この蛍光管には寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管に取り替えてください。蛍光管の交換については、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にお問い合わせください。

輝点・滅点について

画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

電源について

付属の電源コードをお使いください。
感電防止およびノイズ防止のため、プラグにはアース線がついています。
電源コンセントにプラグを差し込む前に、必ずアース線をアースへつないでください。電源コードを抜くときは、先にプラグを抜いてからアース線をはずしてください。

次のページにつづく⇨

使用上のご注意(つづき)

メモリーに保存されるデータに関するご注意

- 本機のメモリーには、各種機能の設定時にIPアドレス、ブックマークなどが、また、ご使用にあたってメール、番組購入履歴などが記録されます。
- 本機のメモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力した個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
- 本機を廃棄、譲渡などする場合には、本機のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。消去の方法について詳しくは、「個人情報を消去する」(☞51ページ)をご覧ください。
- 本機の不具合･修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損･消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復はいたしません。あらかじめご了承ください。

外部記録メディア/外部記録機器使用上のご注意

何らかの原因でコンテンツが外部メディアや外部記録機器(“メモリースティック”、デジタルレコーディングハードディスクドライブなど)に記録できなかった場合や、外部メディア･外部記録機器に記録されたコンテンツが破損または消去された場合など、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

インターネットブラウザ機能使用上のご注意

インターネットブラウザの利用、またはかかる機能(ソフトウェアを含む)の不具合、通信障害などに起因または付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

スクリーン面のお手入れについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてください。また画面の汚れをふき取るときは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

外装のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布でふき取り、乾いた布でカラぶきしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

リモコン取り扱いについて

- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房機具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

廃棄するときは

- **一般の廃棄物と一緒にしないでください。**
  ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。
- **本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。**

搬送時のご注意

本機を落としたりするとけがや故障の原因となることがありますので、下記のことを必ずお守りください。

⚠注意

- 本機を運ぶときは、本機に接続されているケーブル等をすべてはずす。
- 修理や引越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使う。
- 本機を手で運ぶときは、必ず2人以上で図のように持って運んでください。

乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使いきったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- **廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。**

もし電池の液が漏れたときは、リモコンの電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

＜液晶テレビ＞ 安全点検チェックリスト

安全点検項目

❶	布やテーブルクロスなどで **通風孔をふさいで**いませんか	**設置場所と設置方法**
❷	**水気、油気、湿気、ほこりの多いところ**に置いていませんか	
❸	**不安定な場所**に置いたり、**不安定な置きかた**をしていませんか	
❹	電源コードが**物**(**椅子、机、台など**)**の下敷き**になっていませんか	**電源コードとプラグ**
❺	**たこ足配線**をしていませんか	
1	電源コードを動かしたとき、**電源が入ったり切れたり**しませんか	
2	電源コードが窮屈に**折れ曲がったり、キズがついたり**していませんか	
3	電源コードやプラグが**異常な熱**を持っていませんか	
4	**異常な熱や煙**が発生したり **変な臭いや音**(パチパチ)がしませんか	**液晶テレビ本体**
5	電源を入れても **画像や音が出ない**ことがありませんか	
6	**画像や音が途切れたり、乱れたり**しませんか	
7	**通風孔から水や異物**(紙·虫·クリップ·ピンなど)が入った形跡がありませんか	
8	**故障状態のまま**使用していませんか	

	点検結果　年／月　○良い　×悪い					処置手順
						×印の項目があるとき
❸						そのままお使いになりますと故障や事故の原因になることがあります。
						正しく安全な設置場所や設置方法に必ず改善してください。
						1つでも×印があるとき
3						
						すぐに電源プラグを抜いて使用を中止してください。
6						
						お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。

付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

付属品一覧

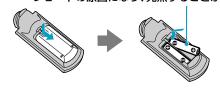
品名	
テーブルトップスタンド台座（1個）	
ケーブルカバー（1個）	
本体固定用ネジ（4本）	
転倒防止部品（2個）	
転倒防止用ベルト（1個） 取り付け用ネジ（1本） 木ネジ（1本）	
リモコン（1個）、 リモコンホルダー（1個） 単3形乾電池（2個）	
AVマウス（1.5m）（1本）	
アンテナケーブル（2.5m）（1本）	
アンテナ変換アダプター（1個）	
電源コード（2.5m）（1本）	
テレホンコード（10m）（1本）	
モジュラーテレホンコードカプラー（1個）	

B-CAS（ビーキャス）カード
（デジタル放送用ICカード）と
　B-CAS用ユーザー登録はがき台紙
操作・困ったときは編 取扱説明書
設置・接続編 取扱説明書
VAIOとつないで本機で静止画・音楽・映像を楽しむために
ソニーご相談窓口のご案内
保証書
（各1部）

別売りアクセサリーについて

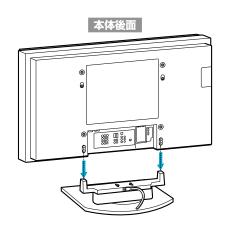
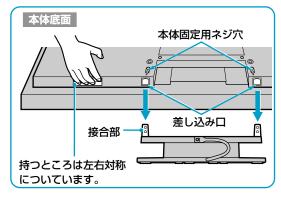
他機との接続（☞52ページ）には、別売りアクセサリーが必要です。
本書記載の別売りアクセサリーは、2005年8月現在のものです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

リモコンに電池を入れるには

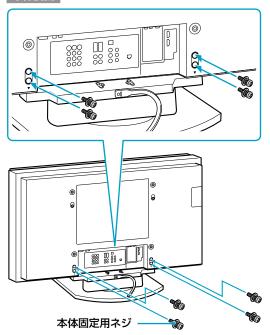
必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。無理に入れたり逆に入れたりすると、ショートの原因になり、発熱することがあります。

スタンドに設置する・転倒防止の措置をする

テーブルトップスタンドに本体を設置します。
取り付ける前に、付属のネジに合った⊕ドライバーをご用意ください。

1 **本体をスタンドに載せる。**

本体後面に差し込み口の目印となるネジ穴(本体固定用ネジ穴)があります。スタンドの接合部の真上に、このネジ穴の位置を合わせて、本体を載せてください。
必ず2人以上で行ってください。

ちょっと一言

本体には、底面の両端に持つところがあります。片方の手で底面を持ち、もう片方の手で本体上部を支えてください。

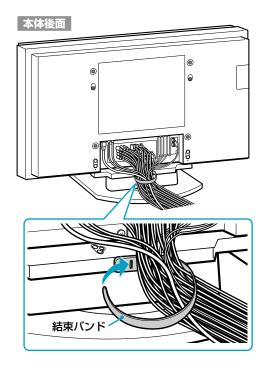
2 **本体とスタンドを本体固定用ネジ4本で固定する。**

ご注意

電動ドライバーを使う場合、締め付けトルクは約1.5 N·m{15Kgf·cm}に設定してください。

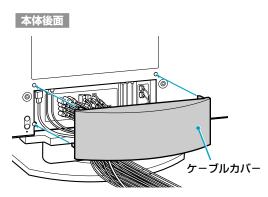
3 **「テレビの接続」(☞24 ～ 30ページ)と「他機との接続」(☞52 ～ 65ページ)をして、最後に電源コードを本体につなぐ。**

次のページにつづく⇨

スタンドに設置する・転倒防止の措置をする（つづき）

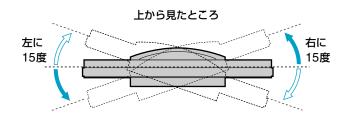
4 ケーブル類を結束バンドでまとめる。

ご注意

ケーブル類は強くひっぱらず、負荷がかからないようにたるみをもたせてまとめてください。

5 ケーブルカバーを本体にはめ込む。

ご注意

本体につないでいるケーブルを無理に押し込まないでください。

6 見やすい角度に調節する（スイーベル）。

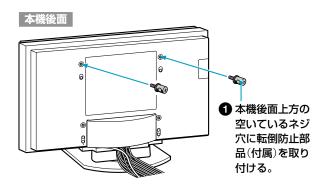
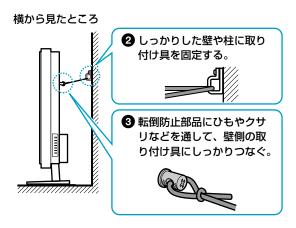
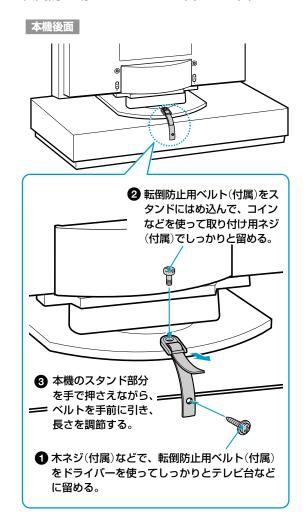
調整するときは、壁などにぶつからないように本機後面から20cm以上間隔を空けておいてください。

7 転倒防止の処置をする。

⚠警告

転倒防止の処置をしないと、本機が転倒して、けがの原因となることがあります。本機と壁や柱などをつないで、転倒防止の処置を行ってください。

転倒防止部品または転倒防止用ベルトのどちらかを必ず取り付けてください。

転倒防止部品で壁などに固定する

あらかじめ市販の丈夫なひもまたはクサリと、壁につなぐための取り付け具をご用意ください。

転倒防止用ベルトでテレビ台などに固定する

ご注意

- テレビ台の種類により付属の木ネジが使用できないときがあります。そのような場合や、強度が充分とれない場合は、テレビ台などの取り付けに合った市販のネジをご用意ください。
- 市販のネジを使用するときは、直径3 ～ 4mmのネジをご用意ください。ネジの種類については、お買い上げ店や工事店にご相談ください。

準備の前に

ご覧になる放送によって、行う準備が異なります。
☞24 ～ 37ページの準備を行うと、すべての放送を見る準備が整います。また、デジタル放送をご覧になるときは、電話回線を接続することをおすすめします。

地上アナログ放送を見たい

- 準備2：アンテナをつなぐ（☞25ページ）
- 準備5：電源コードとアース線をつなぐ（☞30ページ）
- 準備6：お買い上げ時の初期設定をする［かんたん設定］（☞31ページ）
- 地上アナログ放送の設定をする（☞38ページ）*1
- 地上アナログ放送のチャンネル設定をする（☞39ページ）*1
- 地上アナログ放送の番組表（Gガイド）の設定をする（☞40ページ）*1

*1 準備6を行えば、設定の必要はありません。

地上デジタル放送を見たい

- 準備1：B-CASカード（デジタル放送用ICカード）を挿入する（☞24ページ）
- 準備2：アンテナをつなぐ（☞25ページ）*2

*2 地上デジタルを見るときは、地上波アンテナが地上デジタルに対応している必要があります。

- 準備5：電源コードとアース線をつなぐ（☞30ページ）
- 準備6：お買い上げ時の初期設定をする［かんたん設定］（☞31ページ）
- 地上デジタル放送の設定をする（☞41ページ）*3
- 地上デジタル放送のチャンネル設定をする（☞43ページ）*3

*3 準備6を行えば、設定の必要はありません。

BSデジタル放送を見たい

110度CSデジタル放送を見たい

準備1: B-CASカード(デジタル放送用ICカード)を挿入する(☞24ページ)

準備2: アンテナをつなぐ(☞25ページ)

準備5: 電源コードとアース線をつなぐ(☞30ページ)

準備6: お買い上げ時の初期設定をする[かんたん設定](☞31ページ)

BS・110度CS放送の設定をする(☞44ページ)*4

BS・110度CS放送のチャンネル設定をする(☞46ページ)*4

*4 準備6を行えば、設定の必要はありません。

デジタル放送のデータ放送(双方向通信など)を楽しみたい

準備3: データ放送を楽しむための接続をする(☞28ページ)

準備8: 電話回線を設定する(☞36ページ)

(黒):「テレビの接続」(☞24 ～ 30ページ)をします。

(灰色):「受信設定」(☞31 ～ 46ページ)をします。

準備1

B-CAS（ビーキャス）カード（デジタル放送用ICカード）を挿入する

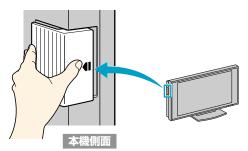
B-CAS*[1]カード（デジタル放送用ICカード）はお客様と地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの放送局をつなぐカードです。

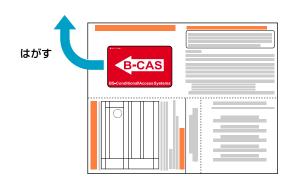
2004年4月より、番組の著作権保護のためデジタル放送は、B-CASカードを挿入していないと、スクランブルがかかって視聴することができません。
デジタル放送を視聴するときは、必ず、B-CASカードを挿入してください。

デジタル放送では、このカードを利用したCAS（限定受信システム）が採用されています。
また、有料番組やPPV番組（☞「操作・困ったときは編」の「テレビのその他の機能」→「ペイ・パー・ビュー（PPV）を見る」）を見たり、データ放送の双方向サービスを受けたりするときも、B-CASカードを使用します。

*1 B-CASは（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。

次の手順は、電源を切った状態で行ってください。

1 **本機側面のB-CASカード挿入口のふたを開ける。**

2 **同封の「ビーキャス（B-CAS）カード使用許諾契約約款」の内容をお読みになり了解された上で、台紙からB-CASカードをはがす。**

B-CAS用ユーザー登録はがき台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。

3 **B-CASカードを奥までしっかり挿入する。**

B-CASと書かれた面をテレビ後面側に向けて、印刷された矢印の方向に挿入する。

4 **B-CASカード挿入口のふたを閉める。**

同梱のB-CAS用ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函することをおすすめします。

ちょっと一言

各種サービスの利用やカード交換などをスムーズに行うため、B-CASにユーザー登録することをおすすめします。

準備2 アンテナをつなぐ

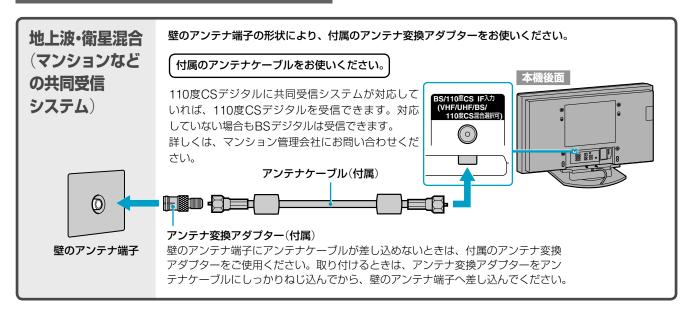
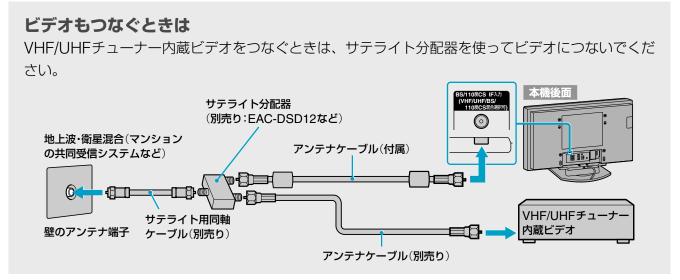
壁のアンテナ端子が地上波/衛星混合タイプのときは、付属のアンテナケーブル1本でつなげます（☞下記の「地上波・衛星混合アンテナにつなぐ」）。個別に衛星アンテナを設置しているときや、壁のアンテナ端子が地上波アンテナと衛星アンテナで別々のときは、「地上波アンテナと衛星アンテナを別々につなぐ」（☞26ページ）をご覧ください。
本機の電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。

地上デジタルを受信するときは

これまで使用していた地上アナログのUHF用アンテナを使用できる場合があります。ただし、地域によっては、アンテナの取り換えや方向の変更、ブースター（増幅器）の追加などが必要となることがあります。詳しくは、お買い上げ店などにご相談ください。

地上波・衛星混合アンテナにつなぐ

ビデオもつなぐときは

VHF/UHFチューナー内蔵ビデオをつなぐときは、サテライト分配器を使ってビデオにつないでください。

次のページにつづく ⇨

準備2　アンテナをつなぐ（つづき）

地上波アンテナと衛星アンテナを別々につなぐ

VHF/UHF混合、またはVHF、またはUHF

壁のアンテナ端子の形状により、付属のアンテナ変換アダプターをお使いください。

付属のアンテナケーブルをお使いください。

アンテナ変換アダプター（付属）
壁のアンテナ端子にアンテナケーブルが差し込めないときは、付属のアンテナ変換アダプターをご使用ください。取り付けるときは、アンテナ変換アダプターをアンテナケーブルにしっかりねじ込んでから、壁のアンテナ端子へ差し込んでください。

推奨BS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナ
SAN-40BK1/SAN-40B1/SAN-50B1（いずれも別売り）

ビデオもつなぐときは

BSアナログチューナー内蔵ビデオをお持ちのときは

110度CSデジタルに対応していない分配器を使ったり、衛星アンテナからビデオを経由して本機のBS/110度CS IF入力端子につないだりしないでください。110度CSデジタルを受信できないことがあります。

テレビの接続

アンテナをつなぐときのご注意

きれいな画像をお楽しみいただくために

下記のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、電波妨害を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

- 本機後面のVHF/UHF端子への接続は、付属のアンテナケーブルを使ってください。
- アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
- 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。

地上デジタルのアンテナ工事について

お買い上げ店などにご相談ください。地上デジタルの受信は、UHF対応のアンテナが必要です。VHFアンテナでは受信できません。特に、地上デジタル受信用に地上アナログ受信用とは別のアンテナを設置するときは、お買い上げ店やアンテナ工事業者とご相談のうえ、VHF/UHFアンテナ混合器をお使いください(地域事情に応じた地上デジタル対応アンテナ混合器が市販されています)。

110度CSデジタルを受信するには

110度CSデジタルに衛星アンテナや分配器、ブースター(増幅器)、および共同受信システムが対応していれば、110度CSデジタルを受信できます。詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。

すでにBSアナログをご覧いただいているときは

お使いの衛星アンテナの向きを変えることなく、そのままBSデジタルもBSアナログもそれぞれに対応したBSチューナーで受信できます。

ただし、一部の衛星アンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないこともあります。受信状況が悪い場合は、衛星アンテナ製造元のお客様窓口や、お買い上げ店などにお問い合わせください。

ケーブルテレビに加入されているときは

受信契約をされているケーブルテレビ放送会社に、BSデジタルや110度CSデジタルに対応しているかを確認してください。ケーブルテレビ放送会社が対応していれば、BSデジタル、110度CSデジタルはご覧いただけます。詳しくは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

デジタルCS放送*1を含めた共同受信システムのときは

お住まいのマンションの共同受信システムによって、壁のアンテナ端子への接続のしかたが異なります。マンション管理会社(または管理人や管理組合など)に、共同受信システム方式を確認して、その指示に従って、接続および受信方法の設定(☞44ページ)を行ってください。

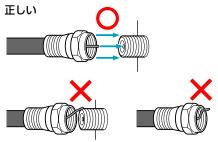
*1 SKY PerfecTV!のことです。110度CSデジタルではありません。

「取扱説明書をご覧いただきBSアンテナ電源(コンバーター電源)や、アンテナの接続を確認してください」という表示が出たら

本機前面の電源/録画·予約ランプが緑色に点滅して、「BS/CS:衛星アンテナ設定」が自動的に「切」になります。

1 テレビ本体の電源スイッチで電源を切る。

2 以下のことを確認する。

- サテライト用同軸ケーブルの芯線が、BS/110度CS IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。

- サテライト用同軸ケーブルをアンテナコネクターでつないでいるときは、アンテナコネクターの芯線が、BS/110度CS IF入力端子やコネクターのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。
  それでも表示が消えないときは、アンテナコネクターのふたを開けて、内部を確認してください。
- **BS/110度CS IF入力端子につないでいるアンテナの信号が地上波だけのときは、アンテナをVHF/UHF入力端子につなぐことをおすすめします。**

3 再び電源を入れたあと、ホームメニューで「BS/CS:衛星アンテナ設定」を設定する(☞44ページ)。

ホームメニューから「(設定)」→「(放送設定)」→「BS/CS:衛星アンテナ設定」→「オート」または「入」、「切」の順に選ぶ。

「**オート**」または「**入**」:衛星アンテナを本機につないでいるとき。

「**切**」:マンションなどの共同受信システムのとき。

ご注意

- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。お買い上げ店などにご相談ください。

フィーダー線

- これまでお使いのUHF用アンテナを地上デジタル用に使用する際に、うまく映らなかったり、画面が乱れたりするときは、お買い上げ店などにご相談ください。
- サテライト分配器は、110度CSデジタル(2150MHz)対応のものを使ってください。なお、衛星アンテナへは本機または接続したビデオから電源を供給するため、全端子電流通過型のサテライト分配器を使ってください。
- BS/110度CS IF入力端子には、必ずサテライト用同軸ケーブルをつないでください。BS/110度CS IF入力端子からは衛星アンテナ用の電源(DC15/11V)が供給されているため、サテライト用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。

準備3

データ放送を楽しむための接続をする

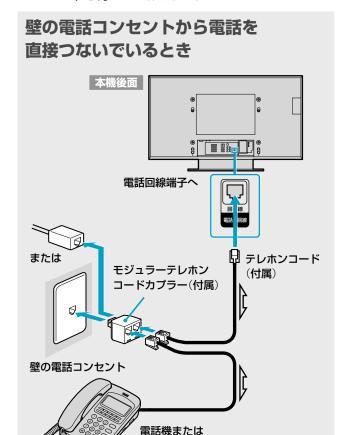
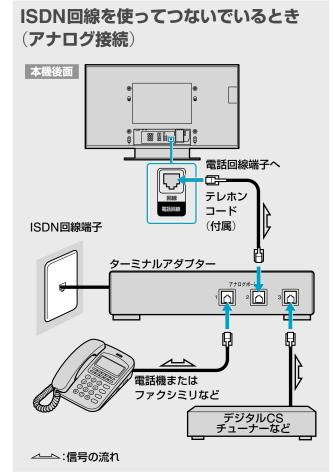
ペイ・パー・ビュー番組（有料番組）や視聴者参加型番組を楽しんだり、B-CASカードに記憶された情報を放送局へ送るためには本機を電話回線につなぐ必要があります。

1 電話回線の使用状況に合わせてつなぐ。

電話回線の状況に合わせて、つないでください。壁のコンセントがモジュラージャック式でないときは、お買い上げ店や専門業者などにお問い合わせください。

インターネットも楽しむときは、「準備4:インターネットを楽しむための接続をする」（☞29ページ）を行ってください。

壁の電話コンセントから電話を直接つないでいるとき

ISDN回線を使ってつないでいるとき（アナログ接続）

2 電話回線設定をする（☞36ページ）。

データ放送（アンケートなどの双方向通信）、B-CASカードの通信などで必要となります。

「準備8:電話回線を設定する」（☞36ページ）で必ず設定してください。

ご注意

- 次の電話回線にはつなげません。
  - 公衆電話および共同電話、地域集団電話
  - 携帯電話およびPHS、自動車電話
  - 船舶電話
  - 外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」（0発信）または「9」（9発信）以外の数字を付けるとき
  - ビジネスホン
- ホームテレホンのときは、壁の電話コンセントがモジュラージャック式でも専門業者による工事が必要です。
- ISDN回線端子に付属のモジュラーテレホンコードカプラーをつながないでください。無理に押し込むと破損することがあります。
- 契約によっては、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できないことがあります。ご利用の回線事業者に確認してください。
- ターミナルアダプターにつないだ場合は、本機の電話回線を「トーン」に設定してください（☞36ページ）。

準備4

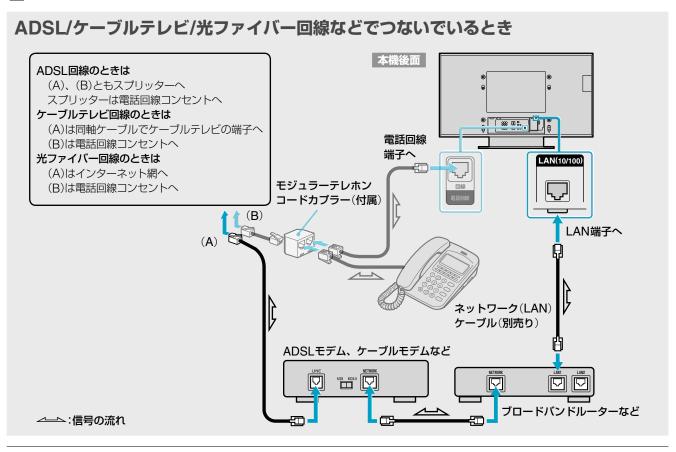
インターネットを楽しむための接続をする

インターネットを楽しんだり、データ放送のコンテンツ*1を放送局などのサーバーからインターネット経由で楽しむことができます。プロバイダーとの契約が必要です。

*1 地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルで運用されています。

1 プロバイダーとの契約をする。

2 インターネット回線の状況に合わせてつなぐ。

ADSL/ケーブルテレビ/光ファイバー回線などでつないでいるとき

3 設定をする。

「通信設定をする」(☞48ページ)で必ず設定してください。

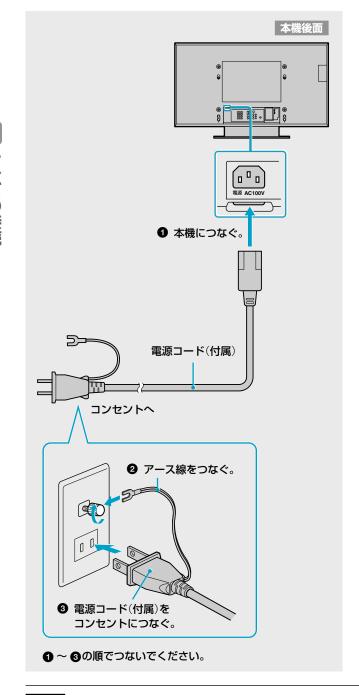
ネットワーク(LAN)ケーブルをお使いになるときは

- ネットワーク(LAN)ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。
  モデムやルーターなどの種類により、使用するケーブルの種類が異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 100BASE-TX/10BASE-Tタイプのネットワーク(LAN)ケーブルをお使いください。
  詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- 本機が放送局と、購入情報などを送受信しているときは、本機前面の消画/通信/タイマーランプが点滅し、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。
  その際、一部の通信機器で呼び出し音が鳴ることがあります。このときは、付属のモジュラーテレホンコードカプラーのかわりに、別売りの自動転換機を使ってください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換器をご使用ください。
- BSデジタル·110度CSデジタルの放送局へ登録などができないときは、NTTに問い合わせて、「回線ごと非通知設定」を解除してください。
- モデムなどについてご不明な点は、ご利用の回線事業者にお問い合わせください。

準備5 電源コードとアース線をつなぐ

すべての接続が終わってから、本機の電源コード（付属）をつなぎます。先に本機につないでから壁のコンセントにつなぎます。
アース線をつなぐ前に、電源コードのアース端子のキャップをはずしてください。

ご注意

- 電源コード（付属）のアース端子からはずしたキャップを、幼児が誤って飲み込まないように注意してください。
- 必ず、付属の電源コードをご使用ください。
- 壁のコンセントが2芯専用の場合は、必ずアース工事を行ってから、付属の電源コードのアース線をアースへ接続してください。
感電の原因となりますので、アース工事は必ず専門業者にご依頼ください。
- 安全のため、コンセントに電源コードを差し込む前にアース線をアースへ接続してください。
- 電源コードをコンセントから抜くときは、アース線を最後にはずしてください。
- ビデオなどの機器をつなぐときも、すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントにつないでください。

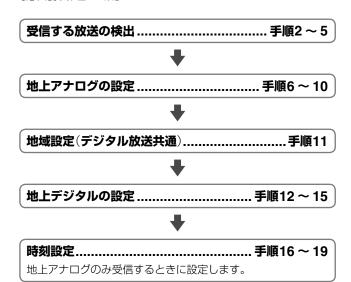
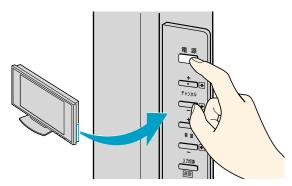
準備6

お買い上げ時の初期設定をする［かんたん設定］

はじめて本機の電源を入れると、放送を受信するための初期設定画面が表示されます。
あらかじめアンテナはつないでおいてください（☞25ページ）。
初期設定の設定項目をすべて行えば、地上アナログ、地上デジタル、BS･110度CSデジタルのすべての放送設定が完了します。

初期設定の流れ

受信する放送の検出 .... 手順2～5
↓
地上アナログの設定 .... 手順6～10
↓
地域設定（デジタル放送共通）........................... 手順11
↓
地上デジタルの設定 .... 手順12～15
↓
時刻設定 .... 手順16～19
地上アナログのみ受信するときに設定します。

お買い上げ時の初期設定は、下記のボタンだけで操作できます。

1 **本体の電源スイッチを押す。**

「かんたん設定」画面が表示されます。

受信する放送の検出

2 **↑/↓で「自動で検出する」を選んで、決定を押す。**
（☞「手動で設定するには」34ページ）

→を押して次の画面へ進んでください。

3 **←/→で「はい」を選んで、決定を押す。**
衛星アンテナを調整しないときは「いいえ」を選んで、手順5に進んでください。

4 **衛星アンテナを動かして、アンテナレベルを調整する。**
衛星アンテナの向きの調整について詳しくは、「衛星アンテナの向きを調整する」（☞44ページ）をご覧ください。

→を押して次の画面へ進んでください。

次のページにつづく ⇨

5　**内容を確認して、←/→で「はい」を選んで、決定を押す。**

エラーメッセージが表示されたときは

「…アンテナが間違って挿されています…」または「信号が検出されませんでした」と表示されたときは、下記の操作をしてください。

1. **本機の電源を切る。**
2. **アンテナの接続を確認する。**
   地上放送のみを受信する場合、アンテナをBS/110度CS IF入力端子に接続していると正しく検出されません。VHF/UHF端子に接続し直してください。
3. **本機の電源を入れる。**
4. **もう1度、手順2(☞31ページ)からやり直す。**

エラーメッセージが消えない場合は、BS/110度CS IF入力端子に接続したアンテナをVHF/UHF端子に接続し直してください。

アンテナは正しく接続されているのに、正しい検出結果がでないときは

「いいえ」を選んで、手動で設定してください(☞「手動で設定するには」34ページ)。

電波が強いときなどは検出結果が実際の接続と異なることがあります。この場合も手動で設定してください。

地上アナログ

6　**←/→で「はい」を選んで、決定を押す。**

地上アナログを受信しないときは、「いいえ」を選んで、手順11へ進んでください。

7　**↑/↓で放送局のある地域名・地域番号を選んで、決定を押す。**

地上アナログの番組表(Gガイド)を表示できるようになります。

よくご覧になる地上アナログ放送局のある地域を選んでください。地域がわからないときは、「ガイドチャンネル一覧」(☞66ページ)をご覧になり、お住まいの地域の放送局をより多く含んでいる地域番号を選んでください。お住まいの地域の放送局は、新聞のテレビ欄などで確認できます。

→を押して次の画面へ進んでください。

8　**決定を押してから、↑/↓で「UHF」または「CATV」を選んで、もう1度、決定を押す。**

UHF：UHFまたはVHFアンテナをつないでいるときに選びます。

CATV：ケーブルテレビで地上アナログを受信しているときに選びます。

→を押して次の画面へ進んでください。

9 ←/→で「はい」を選んで、決定を押す。

地上アナログの受信できるチャンネルを自動設定します。
チャンネルスキャン中は、電源を切らないでください。
チャンネルスキャンが終わると、下の画面になります。

1 ～ 12の数字ボタン

自動設定したチャンネル

「いいえ」を選んだときは、手順11へ進んでください。

10 設定されたチャンネルを確認する。

変更が必要なときは、この画面上で変更できます。各設定項目や設定方法については、「地上アナログ放送のチャンネル設定をする」(☞39ページ)をご覧ください。
→を押して次の画面へ進んでください。

11 ↑/↓でお住まいの都道府県名を選んで、決定を押す。

選んだ地域のデジタル放送のチャンネルを設定できるようになります。受信できるチャンネルについて詳しくは、「地上デジタル放送・地域別チャンネル割り当て一覧表」(☞70ページ)をご覧ください。

→を押して次の画面へ進んでください。

地上デジタル

12 ←/→で「はい」を選んで、決定を押す。

地上デジタルを受信しないときは「いいえ」を選んでください。その場合、時刻設定の画面が表示されたときは、手順16へ進んでください。
かんたん設定終了の画面が表示されたときは、手順20へ進んでください。

13 決定を押してから↑/↓で「UHF」または「CATV」を選んで、もう1度、決定を押す。

UHF：地上デジタル放送をUHFアンテナから受信するときに選びます。
CATV：ケーブルテレビで地上デジタルが配信されているときに選びます。

→を押して、次の画面へ進んでください。

次のページにつづく ⇨

ちょっと一言

「かんたん設定」終了後に設定を変える場合は、☞38 ～ 46ページをご覧になり設定してください。

14 **←/→で「はい」を選んで、決定を押す。**

地上デジタルの受信できるチャンネルを自動設定します。
チャンネルスキャン中は、電源を切らないでください。
チャンネルスキャンが終わると、下の画面になります。

自動設定したチャンネル

1 ～ 12 の数字ボタン

「いいえ」を選んだときは、手順20へ進んでください。

15 **設定されたチャンネルを確認する。**

→を押して、手順20へ進んでください。

時刻設定

16 **決定を押してから、↑/↓で設定して、→でカーソルを次の項目に移動する。**

年→月→日の順に設定してください。

17 **決定を押してから、↓で時刻設定欄を選んで、もう1度、決定を押す。**

18 **↑/↓で設定して、→でカーソルを次の項目に移動する。**

時→分の順に設定してください。

19 **決定を押す。**

→を押して次の画面へ進んでください。

20 **決定を押す。**

これで「かんたん設定」は終了です。

手動で設定するには

新たに地上デジタルを受信開始するなど、設定する放送が決まっているときに設定します。手順1(☞31ページ)または手順5(☞32ページ)のあとで下記の操作をしてください。

1 **「手動で設定する」を選んで、決定を押す。**

2 **↑/↓でアンテナの接続方法を選んで、決定を押す。**

詳しくは、「アンテナ接続方法を設定する」(☞38ページ)をご覧ください。

「地上のみを接続」を選んだときは、☞32ページの手順6以降を行ってください。

3 **←/→で「はい」を選んで、決定を押す。**

「いいえ」を選んだときは、☞32ページの手順6以降を行ってください。

4 **衛星アンテナを動かして、アンテナレベルを調整する。**

詳しくは、「衛星アンテナの向きを調整する」(☞44ページ)をご覧ください。

5 **☞32ページの手順6以降を行う。**

地上アナログ放送の映りが悪いときには

アンテナ接続、または、「手動で設定するには」の手順2のアンテナ接続方法が間違っている可能性があります。アンテナの接続、もしくは、アンテナ接続方法の設定を変更してください。

かんたん設定をあとでやり直すには

地上デジタルの放送が開始されていない地域など、お買い上げ時に初期設定ができなかったときは、放送が開始されてから「かんたん設定」を行ってください。
ホームメニューから「(設定)」→「(かんたん設定)」の順に選ぶ。

準備7

各放送局に視聴を申し込む

加入申し込みが必要な有料BSデジタル放送局と110度CSデジタル衛星サービス会社のカスタマーセンター(お問い合わせ先)一覧

BSデジタルの有料放送や110度CSデジタルを視聴するには、各局へ加入申し込みをして契約する必要があります。
加入申し込み方法はBSデジタル放送局や110度CSデジタル衛星サービス会社により異なります。詳しくは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。
なお、無料放送でも登録が必要な場合があります。詳しくは、ご覧になりたい放送局へお問い合わせください。

2005年8月現在の電話番号とホームページアドレスです。

有料BS•110度CSデジタル放送局

放送局	お問い合わせ電話番号/ホームページアドレス
WOWOW*[1]	0120-480801 受付 9:00 ～ 20:00(年中無休) http://www.wowow.co.jp/
スター・チャンネル*[2]	スター·チャンネル カスタマーセンター 03-5563-6777 受付 10:00 ～ 18:00 http://www.star-ch.co.jp/ なお、スター·チャンネルBSの加入申し込みは、下記のSKY PerfecTV!110へお問い合わせください。

*[1] テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。独立データ放送(WOWOW プロモチャンネル:791ch)は無料放送です。
*[2] テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。独立データ放送(800ch)は無料放送です。

110度CSデジタル衛星サービス会社

110度CSデジタル衛星サービス	お問い合わせ電話番号/ホームページアドレス
SKY PerfecTV!110(CS1·CS2)	0570-012-110 (または、045-339-0002) 受付 10:00 ～ 20:00 http://www.skyperfectv110.jp/

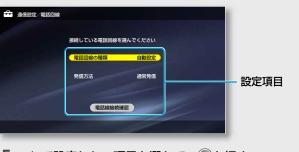
準備8

電話回線を設定する

1 ホーム を押す。

2 ←で「(設定)」を選ぶ。

3 ↑/↓で「(通信設定)」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で「電話回線設定」を選んで、決定を押す。

5 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

選ぶ項目	できること
電話回線の種類	**自動設定**：回線の種類を自動的に選びます。「自動設定」でうまく通信できないときは、「トーン」「10pps」または「20pps」を選んでください。ADSL回線を使っているときは「自動設定」を選んでください。 **トーン**：NTTの料金明細書で「プッシュ回線用の基本料（回線使用料）」が請求されているときや、ISDN回線を使っているときに選んでください。 **10pps/20pps**：NTTの料金明細書で「プッシュ回線用の基本料（回線使用料）」が請求されていないときに選んでください。
発信方法	**通常発信**：外線に電話するときに、相手の電話番号にそのままかけるときは、「通常発信」を選んでください。 **0発信/9発信**：外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」（0発信）または「9」（9発信）を付けるときに選んでください。
電話線接続確認	電話線が正常に接続されているか確認できます。

ご注意

- デジタル放送の放送局へ登録などができないときは、NTTに問い合わせて、「回線ごと非通知設定」を解除してください。
- 「電話線接続確認」は、本機と電話回線が物理的に接続されてやり取りできるかをテストするもので、テストがうまくいってもつながらないときは、再び「電話回線の種類」で「トーン」や「10pps」、「20pps」を正しく設定し直してください。
- データ放送によっては、マイラインプラスの契約どおりに通信できないことがあります。

オプションでできること…

● 電話回線設定画面表示中

項目	できること
詳細設定	 **発信先への電話番号通知** **通知しない:**電話番号の先頭に「184」を付けます。相手先にこちらの電話番号を知らせない設定です。 **通知する:**電話番号の先頭に「186」を付けます。相手先にこちらの電話番号を知らせる設定です。 **電話会社の番号:**必要なときに設定してください。リモコンの(1)～(10)の数字ボタンで変更したい電話会社の番号の下2～5桁を入力して、(決定)を押してください。 マイラインプラスの契約をしている場合は、「マイラインプラス契約」を「している」に設定してください。

受信設定

設定

地上アナログ放送の設定をする

1 ホーム を押す。

2 ←で「(設定)」を選ぶ。

3 ↑/↓で「(放送設定)」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

準備6（☞31ページ）を行ったときは、このページの設定は不要です。

アンテナ接続方法を設定する

「アンテナ接続方法」を選ぶ。

地上と衛星を別々に接続：地上波アンテナと衛星アンテナを別々に接続しているときに選びます。

地上と衛星を混合して接続：マンションなどの共同受信システムや、ご家庭内でブースター（増幅器）や混合器を使っている場合など、地上放送と衛星放送を1本のアンテナで混合受信しているときに選びます。BS/110度CS IF入力端子に接続してください。

地上のみを接続：地上波アンテナのみ接続しているときに選びます。通常はVHF/UHF端子に接続してください。

衛星のみを接続：衛星アンテナのみ接続しているときに選びます。

受信方法を設定する

「地上アナログ：受信方法」を選ぶ。

VHFは共通で受信できます。

UHF：地上アナログをUHFアンテナで受信します。

CATV：地上アナログをケーブルテレビで受信します。

チャンネルを設定する

「地上アナログ：自動チャンネル設定」を選ぶ。

受信できる地上アナログを自動的に設定します。地上アナログが放送中の時間帯に行ってください。「はい」を選んで、決定を押すと、自動的に設定が始まります。設定中は、操作を行ったり電源を切ったりしないでください。自動設定し終わると、「地上アナログ：チャンネル登録」画面に変わります。設定されたチャンネルを確認してください。

設定されたチャンネルを変更するときは

「地上アナログ放送のチャンネル設定をする」（☞39ページ）をご覧ください。

画面のノイズを軽減する

「地上アッテネーター」を選ぶ。

電波の送信元付近の地域などで、電波が強いため近隣チャンネルなどの干渉を受けるようなときに、画面のノイズを軽減します。「入」または「切」に設定してみてください。

ご注意

ケーブルテレビでも、チャンネルは自動設定できます。地上アナログの番組表（Gガイド）が表示されないなど、自動設定がうまく行かなかったときは、「(設定)」→「(放送設定)」→「地上アナログ：受信方法」を「CATV」に設定してから、チャンネルを手動で設定してください。

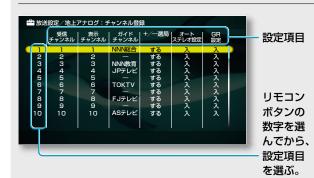
地上アナログ放送のチャンネル設定をする

「地上アナログ放送の設定をする」(☞38ページ)で自動設定したチャンネルを変更したいときに、手動でチャンネルを設定します。
「地上アナログ:自動チャンネル設定」画面で、チャンネルを自動設定し終わると、「地上アナログ:チャンネル登録」画面が自動的に表示されます。新たに設定するときは、下記を行ってください。

1 ホーム を押す。

2 ←で「(設定)」を選ぶ。

3 ↑/↓で「(放送設定)」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で「地上アナログ:チャンネル登録」を選んで、決定を押す。

5 ↑/↓で設定したいリモコンボタンの数字を選んで、決定を押す。

6 ←/→で設定したい項目を選んで、↑/↓で設定する。

準備6(☞31ページ)を行ったときは、このページの設定は不要です。

ワンタッチ選局できるチャンネルを変更する

「受信チャンネル」を選ぶ。
受信するチャンネルを設定できます。「−」を設定すると受信しません。

表示チャンネルを設定する

「表示チャンネル」を選ぶ。
チャンネル表示を書き換えられます。画面に出るチャンネル表示は、新聞のテレビ欄などに載っているチャンネルになっています。これを、好きなチャンネル番号などに書き換えることができます。ホームメニューにも書き換えたチャンネル番号が表示されます。

ガイドチャンネルを設定する

「ガイドチャンネル」を選ぶ。
番組表(Gガイド)に表示される放送局を設定できます。
番組表(Gガイド)が正しく受信できている場合、放送局名は自動で表示されますが、受信は正しくできても、放送局名が正しく表示されないときなどに設定してください。設定するときは、「Gガイドについて」(☞66ページ)をご覧ください。

チャンネル+/−ボタンやホームメニューで選べるチャンネルを変更する

「+/−選局」を選ぶ。
チャンネル+/−ボタンやホームメニューで選べるチャンネルを変更できます。
する:チャンネル+/−ボタンやホームメニューで選べるようになります。
しない:チャンネル+/−ボタンやホームメニューで選べなくなります。

ステレオ放送を自動設定する

「オートステレオ設定」を選ぶ。
VHF/UHFのステレオ放送で雑音が気になるときに、「切」を選ぶと、音声をモノラルにして、チャンネルごとに雑音を軽減できます。

ゴーストの少ない映像にする

「GR設定」を選ぶ。
「入」を選ぶと、放送局から送信されるゴースト除去基準信号を感知し、建物や地形などによる電波反射で発生するゴーストを少なくするようにします。

設定

地上アナログ放送の番組表（Gガイド）の設定をする

地上アナログの番組表（Gガイド）を表示するためには、このページの設定項目すべてを設定する必要があります。

1 **を押す。**

2 ←で「（設定）」を選ぶ。

3 ↑/↓で「（放送設定）」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

準備6（☞31ページ）を行ったときは、このページの設定は不要です。

現在時刻を設定する

「地上アナログ：現在時刻設定」を選ぶ。

現在の「日にち」と、「時刻」を設定します。「ジャストクロック」で「入」を選ぶと、「利用チャンネル」で選ばれているチャンネルの時報を受信して、本機の内蔵時計の3分以内の誤差を自動で調整します。「利用チャンネル」はお住まいの地域のNHK教育テレビの受信チャンネルを選んでください。
↑/↓で設定したい項目を選んで決定を押し、↑/↓で設定を選んで決定を押します。
本機でデジタル放送をご覧になるときは、自動で設定されます。

地域番号を設定する

「地上アナログ：地域番号設定」を選ぶ。

引越しなどでお買い上げ時の初期設定で設定した地域番号を変更したいときに、地域番号を設定し直すことができます。地域番号を設定し直したときは、「地上アナログ：自動チャンネル設定」（☞38ページ）を行ってください。

Gガイドの情報を取得するチャンネルを設定する

「地上アナログ：番組表取得チャンネル」を選ぶ。

Gガイドの番組情報を取得するチャンネルを変更できます。ホスト局（☞66ページ）が正しく設定されているか、確認してください。

Gガイドの情報を取得する時刻を設定する

「地上アナログ：番組表取得時刻」を選ぶ。

Gガイドの番組情報を取得する時間を変更できます。
番組表の番組情報は、お住まいの地域によって取得時刻が異なります。誤った時刻を設定すると、番組情報を正しく受信できなくなりますので、放送局からのお知らせがない限り、時刻を変更しないでください。

ご注意

- 地上アナログの番組表（Gガイド）の情報取得には時間がかかることがあります（最大1日程度）。
- 地上アナログの番組表（Gガイド）を表示するためには、このページの設定を行ったあとに、「チャンネルを設定する」（☞38ページ）の「地上アナログ：自動チャンネル設定」をする必要があります。

地上デジタル放送の設定をする

デジタル放送では、地域ごとに特有の放送が行われる場合があります。お住まいの地域の放送を受信できるように、お買い上げ時の初期設定に加えて、郵便番号設定を行ってください。

1 ホーム を押す。

2 ←で「(設定)」を選ぶ。

3 ↑/↓で「(放送設定)」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

準備6（☞31ページ）を行ったときは、このページの設定は不要です。（「デジタル共通：地域設定（郵便番号）」を除く）

受信方法を設定する

「地上デジタル：受信方法」を選ぶ。

UHF：地上デジタル対応のUHFアンテナをつないでいるときに選びます。

CATV：ケーブルテレビで地上デジタルが配信されているときに選びます。

チャンネルを自動設定する

「地上デジタル：自動チャンネル設定」を選ぶ。

初期スキャン：受信できるすべてのチャンネルをスキャンし、チャンネル番号1～12に自動的に設定します。

再スキャン：設定済みのチャンネルはそのままで、新しく受信できるチャンネルのみをスキャンして自動設定します。再スキャンを行うには、「チャンネル設定をすべてクリアしますか？」と表示されたときに、「いいえ」を選んでください。

地上デジタルのアンテナレベルを確認する

「地上デジタル：アンテナレベル」を選ぶ。

受信中のアンテナレベルを確認できます。

アンテナレベルが緑色の部分に差し掛かると受信状態がよいです。最大値は受信地域によって異なります。

次のページにつづく ⇨

ちょっと一言

「地上デジタル：アンテナレベル」画面で「ビープ音」を「入」にすると、いちばん高い音になるように音を聞きながらアンテナの向きを調整できます。

画面のノイズを軽減する

「地上アッテネーター」を選ぶ。

電波の送信元付近の地域などで、電波が強いため近隣チャンネルなどの干渉を受けるようなときに、画面のノイズを軽減します。「入」または「切」に設定してみてください。

地域設定する

「デジタル共通：地域設定（県域）」を選ぶ。

引越しなどでお住まいの地域が変わったときに設定します。

「デジタル共通：地域設定（郵便番号）」を選ぶ。

(1)～(10)までの数字ボタンでお住まいの地域の郵便番号3桁または7桁を入力します。

放送局やチャンネルが増えたときに自動で受信できるようにする

「地上デジタル：自動チャンネル変更」を選ぶ。

する：通常は「する」でお使いください。放送局やチャンネルが増えたときに自動で受信できるようになります。

しない：放送局やチャンネルが増えたとき、チャンネルスキャンすると受信できるようになります。

ご注意

- 郵便番号を設定するときは、お住まいの地域の郵便番号を正しく入力してください。間違った郵便番号を入れると、お住まいの地域に密着した情報が受信できなかったり、お住まいでない地域の情報を誤って受信してしまいます。
- 県域設定を変更したときは、「チャンネルを自動設定する」（☞41ページ）で「初期スキャン」を行ってください。

設定

地上デジタル放送のチャンネル設定をする

1 ホーム を押す。

2 ←で「(設定)」を選ぶ。

3 ↑/↓で「(放送設定)」を選んで、決定を押す。

設定項目

4 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

ワンタッチ選局できるチャンネルを変更する

「地上デジタル：プリセット登録」を選ぶ。

受信するチャンネルを設定できます。「－－－」に設定すると受信しません。また、リモコンの1～12ボタンを押して選局できるチャンネルを変更できます。↑/↓/←/→で変更したいチャンネルを選んで決定を押し、↑/↓で3桁チャンネル番号を変更します。

変更したチャンネルをすべて元に戻したいときは、「地上デジタル：自動チャンネル設定」(☞41ページ)で「初期スキャン」を行ってください。

例：2を押して110チャンネルを見たいときは、ここを「110」にする。

チャンネル＋/－ボタンや番組表で選べるチャンネルを変更する

「地上デジタル：チャンネル登録」を選ぶ。

↑/↓でチャンネルを選んで、決定を押してから、←/→で設定欄を選んで、↑/↓で設定します。

「＋/－選局」設定欄

「番組表表示」設定欄

ご注意

「地上デジタル：チャンネル登録」画面では、臨時チャンネルと非対応のチャンネルは選べません。

BS・110度CS放送の設定をする

1 ホーム を押す。

2 ←で「（設定）」を選ぶ。

3 ↑/↓で「（放送設定）」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

準備6（☞31ページ）を行ったときは、このページの設定は不要です。（「デジタル共通:地域設定（郵便番号）」を除く）

衛星アンテナ電源を設定する

「BS/CS:衛星アンテナ設定」を選ぶ。

本機後面のBS/110度CS IF入力端子に衛星アンテナをつないだときに、衛星アンテナに電源を供給するかを設定します。

オート:本機の電源が入っているときに、本機が衛星アンテナに電源を供給するかどうかを自動的に判断します。本機の電源が切れているときは供給しません。

入:本機の電源が入っているときは常に電源を供給します。本機の電源が切れているときは供給しません。「オート」の設定でお使いのとき、BSデジタルが映ったり消えたりするときは「入」に設定してください。

切:電源を供給しません。マンションなどの共同受信システムのときは「切」に設定してください。

衛星アンテナの向きを調整する

「BS:衛星アンテナレベル」または「CS1:衛星アンテナレベル」、「CS2:衛星アンテナレベル」を選ぶ。

アンテナレベルが、できるかぎり最大値に近くなるように、アンテナの向きを調整し固定します。
アンテナレベルが緑色の部分に差し掛かると受信状態がよいです。最大値は受信地域によって異なります。

ご注意

衛星アンテナの向きを調整する前に、「BS/CS:衛星アンテナ設定」が「オート」または「入」になっているか確認してください。「切」になっているときは、「オート」または「入」にしたあと、テレビ本体の電源スイッチで電源を入れ直してください。

ちょっと一言

- 「衛星アンテナレベル」は、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信C/Nの換算値を表します。
- 「衛星アンテナレベル」画面で「ビープ音」を「入」にすると、いちばん高い音になるように音を聞きながらアンテナの向きを調整できます。

画面のノイズを軽減する

「衛星アッテネーター」を選ぶ。

電波が強い場合、画面にノイズが出ることがあります。「入」または「切」に設定してみてください。

地域設定する

「デジタル共通：地域設定（県域）」を選ぶ。

引越しなどでお住まいの地域が変わったときに設定します。

「デジタル共通：地域設定（郵便番号）」を選ぶ。

（1）～（10）までの数字ボタンでお住まいの地域の郵便番号3桁または7桁を入力します。

受信設定

設定

BS・110度CS放送のチャンネル設定をする

1 を押す。

2 ←で「(設定)」を選ぶ。

3 ↑/↓で「(放送設定)」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

ワンタッチ選局できるチャンネルを変更する

「BS:プリセット登録」または「CS1:プリセット登録」、「CS2:プリセット登録」を選ぶ。

受信するチャンネルを設定できます。「－－－」に設定すると受信しません。また、リモコンの①～⑫ボタンを押して選局できるチャンネルを変更できます。↑/↓/←/→で変更したいチャンネルを選んで決定を押し、↑/↓で3桁チャンネル番号を変更します。
オプションから「初期化」を選ぶと、BS/CS1/CS2すべての設定が、お買い上げ時の状態に戻ります。

例：②を押して110チャンネルを見たいときは、ここを「110」にする。

チャンネル＋/－ボタンや番組表で選べるチャンネルを変更する

「BS:チャンネル登録」または「CS1:チャンネル登録」、「CS2:チャンネル登録」を選ぶ。

↑/↓でチャンネルを選んで、決定を押してから、←/→で設定欄を選んで、↑/↓で設定します。

ご注意

「チャンネル登録」で設定するときは、臨時チャンネルと非対応のチャンネルは選べません。

準備完了？チェックリスト

取扱説明書の「準備1：B-CASカード（デジタル放送用ICカード）を挿入する」（☞24ページ）から「準備8：電話回線を設定する」（☞36ページ）を順番に行えば、テレビ放送を見ることができるようになります。
下記のチェックリストで、もう1度、確認してください。それでもテレビが映らないときは、☞「操作・困ったときは編」の「困ったときは」をご覧ください。

	テレビ放送がきちんと映るかどうかをチェック！	映像がきれいに映るかどうかをチェック！
	□ 電源コードはつなぎましたか？ ☞30ページ □ テレビ本体の電源は入れましたか？ ☞31ページ	
地上アナログ放送を見たい	□ 地上波アンテナをつなぎましたか？ ☞25ページ	□ 地上アナログのチャンネルは設定しましたか？ ☞38～39ページ □ アンテナ線を他の電源コードや接続ケーブルから離していますか？ ☞27ページ
地上デジタル放送を見たい	□ 地上波アンテナをつなぎましたか？ ☞25ページ □ B-CASカードは入れましたか？ ☞24ページ	□ お使いのアンテナは地上デジタルに対応していますか？ ☞25ページ □ アンテナの受信状態は良好ですか？ ☞41ページ
BSデジタル放送・110度CSデジタル放送を見たい	□ 衛星アンテナをつなぎましたか？ ☞25ページ □ B-CASカードは入れましたか？ ☞24ページ □ 放送局に視聴申し込みをしましたか？ ☞35ページ	□ お使いのアンテナはデジタル放送に適したアンテナですか？ ☞26ページ □ アンテナレベルは最大になっていますか？ ☞44ページ
デジタル放送のデータを楽しみたい		□ 電話回線はつなぎましたか？ ☞28ページ □ 電話回線の設定はしましたか？ ☞36ページ

■：「テレビの接続」（☞24～30ページ）をご覧ください。
■：「受信設定」（☞31～46ページ）をご覧ください。

設定

通信設定をする

「準備4:インターネットを楽しむための接続をする」(☞29ページ)や「ネットワーク機器をつなぐ」(☞63ページ)をしたときに設定します。設定が完了すると、インターネットにつないだり、ネットワーク機器につないだりできます。また、データ放送のコンテンツを見るときは更に快適な環境で楽しめます。

1 を押す。

2 ←で「(設定)」を選ぶ。

3 ↑/↓で「(通信設定)」を選んで、決定を押す。

4 ↓で「ネットワーク設定」を選んで、決定を押す。

5 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

選ぶ項目	できること
IPアドレス取得方法	**DHCPを利用:**ルーターやプロバイダーのDHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。 **固定IPアドレスを指定:**ルーターの使用状況にあわせた値やプロバイダーが指定する値があるときの設定です。手動でネットワークの設定を入力する必要があります。 ↑/↓で手動入力する項目を選んで決定を押し、1〜10の数字ボタンで4つの枠に3桁の数値(0〜255)を入力してください。 手動入力する項目は次のとおりです。 **IPアドレス:** **サブネットマスク:** **デフォルトゲートウェイ:** **DNSサーバー(プライマリ)/(セカンダリ):** プロバイダーの指定の値を入力してください。
接続診断	ネットワークに正常に接続できるかの確認をします。

ちょっと一言

- ソフトウェアキーボードを使用するときは、☞「操作・困ったときは編」の「番組表で見たい番組を探す」→「文字を入力する[ソフトウェアキーボード]」をご覧ください。
- DNSサーバーは、「ネームサーバー」、「プライマリDNSサーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」ともいいます。

オプションでできること…

● ネットワーク設定画面表示中

項目	できること
プロキシ設定	 インターネットプロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときは、プロキシサーバーの設定をしてください。 **プロキシサーバー使用**：インターネットプロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときは「する」に設定してください。 手動入力する項目は次のとおりです。 **プロキシサーバー** **ポート**（1 ～ 65535）

データ放送の通信設定をする

ホームメニューから「(設定)」→「(通信設定)」の順に選ぶ。

地上デジタルでデータ放送のコンテンツに入るときなどに、確認のダイアログを表示するかの設定ができます。

設定項目

選ぶ項目	できること
データ放送：セキュリティサイト自動接続	**する**：セキュリティ保護されたサイトを表示しようとしたときや、セキュリティ保護されていないサイトへ移るとき、確認ダイアログを表示しないで、自動接続します。 **しない**：セキュリティサイト表示の確認ダイアログを表示します。
データ放送：証明書のダウンロード確認	**する**：放送局から新しい証明書が発行されたとき、ダウンロードの確認ダイアログを表示します。 **しない**：ダウンロードの確認ダイアログを表示しません。
データ放送：証明書のダウンロード	**する**：放送局から発行された新しい証明書を自動的にダウンロードします。 **しない**：放送局から新しい証明書が発行されても、ダウンロードしません。

セキュリティ証明書を見るには

1 **ホームメニューから「(設定)」→「(機器情報)」→「ルートCA証明書一覧」または「通信先証明書一覧」の順に選ぶ。**

2 **↑/↓で見たい証明書を選んで、(決定)を押す。**

証明書の詳細内容が表示されます。

ルートCA証明書のときは、↑/↓で「削除」を選んで(決定)を押すと、表示しているルートCA証明書を削除できます。また、一覧表示中に「全件削除」を選んで(決定)を押すと、すべてのルートCA証明書を削除できます。

ちょっと一言

- 通信先証明書はセキュリティサイトを表示しているときに見ることができます。セキュリティサイトを表示しているときは画面右下にが表示されます。
- セキュリティサイトを表示中でも、証明書取得中は通信先証明書を表示できないことがあります。

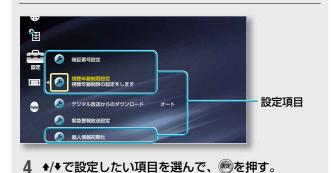
個人情報を設定・消去する

デジタル放送の視聴年齢制限付き番組を、暗証番号を入力しなければ視聴できないように設定できます。また、本機を廃棄したり譲渡したりするときに、個人的な情報を本機から消去できます。

1 ホーム を押す。

2 ←で「(設定)」を選ぶ。

3 ↑/↓で「(機器情報)」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

暗証番号や視聴年齢制限を設定する

「暗証番号設定」を選ぶ。

暗証番号が未設定のとき： 1 ～ 10 までの数字ボタンで4桁の暗証番号を入力できます。暗証番号を間違えたときは←で戻り、入力し直してください。

暗証番号が設定済みのとき： 暗証番号を変更できます。1 ～ 10 までの数字ボタンで変更前の暗証番号を入力してから、新しい暗証番号を入力してください。

「視聴年齢制限設定」を選ぶ。

最初に暗証番号入力画面が表示されます。上の手順で設定した暗証番号を入力してください。

視聴するための年齢を設定しない： 視聴年齢制限付き番組でも暗証番号を入力しないで、見ることができます。

視聴するための年齢を設定する：「年齢制限」に設定した年齢より上の視聴年齢制限付き番組をご覧になるときに、暗証番号の入力が必要になります。例えば15才以下に視聴させたくない番組のときは、「15才～」に設定してください。

年齢制限： 4才～ 19才で設定できます。
すべての成人向け番組の視聴を制限するときは、「4才～」などの低い年齢に設定してください。

ご注意

- **設定した暗証番号は、忘れないようにしてください。** 視聴年齢制限付き番組を見るときに入力が必要です。
- 本機を譲渡/廃棄するときは安全のため、個人情報を消去してください。

ちょっと一言

設定した暗証番号を忘れてしまったときは、「個人情報初期化」を行い、1度消去することで、新しく設定し直せます。その場合は、消去される内容（☞51ページ）はすべて消去されるのでご注意ください。

個人情報を消去する

「個人情報初期化」を選ぶ。

以下のすべての情報が、一括して消去され、お買い上げ時の設定に戻ります。自動的に電源が切れます。

消去される内容

- データ放送で登録した個人情報やポイントなど
- 暗証番号･パスワードなどの登録情報
- 予約設定の情報
- 予約やペイ･パー･ビューなどの履歴情報
- メール
- 登録したブックマーク
- 登録発呼の登録･履歴情報
- 登録したキーワード
- 放送設定の設定内容(地域情報など)
- 接続機器登録(入力端子の名称)
- 接続サーバーの設定
- ネットワーク設定(IPアドレスなど)
- 通信などによる各種証明書
- 各種チャンネル設定

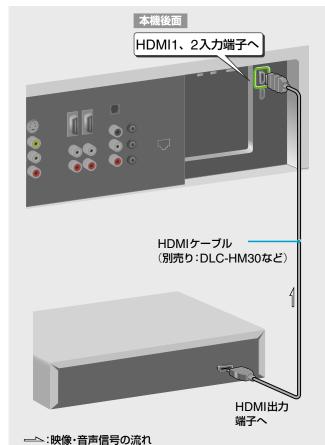
本機で再生するための接続

他機との接続

いいえ

接続する機器にHDMI出力端子がありますか？

▶

はい ▼

この接続を推奨する映像機器

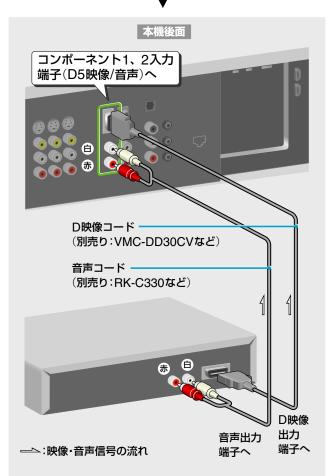
デジタルハイビジョン対応機器や高画質録画・再生可能機器。

- **DVDプレーヤー**
- **HDD搭載DVDレコーダーなど**

いいえ

接続する機器にD映像出力端子がありますか？

▶

はい ▼

この接続を推奨する映像機器

デジタルハイビジョン対応機器や高画質録画・再生可能機器。

- **ブルーレイディスクレコーダー**
- **DVDプレーヤーなど**

本機はD5映像入力に対応しています。接続する機器のD映像出力も「D5」に設定してお使いください。接続する機器がD5映像出力に対応していない場合は、Dに続く数字の大きいほうに設定してください（例：「D3」と「D1」に対応しているときは「D3」に設定する）。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

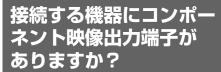
ご注意

- HDMIケーブルはHDMIロゴがついているものをお使いください。
- HDMIケーブルでつないだ機器の映像がきれいに映らなかったり、音が出ないときは、つないだ機器側の設定を確認してください。
- HDMI入力端子は、DVI端子との接続には対応していません。

本機につないだ機器から、本機で映像と音声を再生するための接続です。接続する機器の映像出力端子によって接続のしかたが異なります。

つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

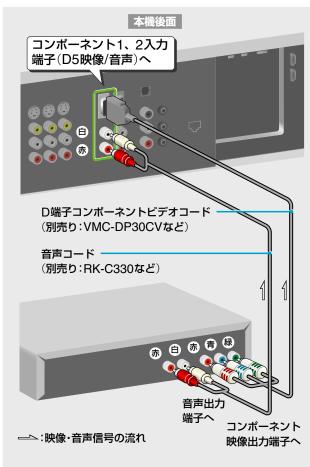
接続する機器にコンポーネント映像出力端子がありますか？

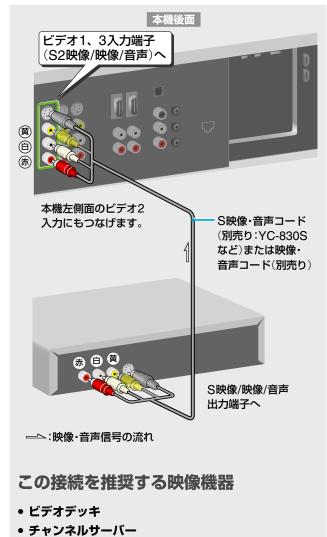
いいえ ▶

接続する機器にS映像出力端子/映像出力端子がありますか？

はい ▼

はい ▼

この接続を推奨する映像機器

デジタルハイビジョン対応機器や高画質録画・再生可能機器。

- **DVDプレーヤーなど**

この接続を推奨する映像機器

- **ビデオデッキ**
- **チャンネルサーバー**
- **DVDプレーヤー**
- **デジタルCSチューナー（SKY PerfecTV!）など**

録画するための接続

本機と録画機器をつなげば、**デジタル放送を本機で録画予約できます。**地上アナログは、録画予約できません。

録画制限や著作権については、☞「操作・困ったときは編」の「録画制限と著作権保護について」をご覧ください。

お手持ちの録画機器がシンクロ録画機能に対応しているときは…

シンクロ録画機能で録画予約する

お手持ちの録画機器がシンクロ録画機能に対応していれば、本機でデジタル放送を録画予約して、アナログ録画できます。

シンクロ録画とは、本機で録画予約した信号が、録画機器の入力端子に入力されると、録画機器側で自動で録画を開始する機能です。
シンクロ録画機能があるDVDレコーダーやビデオデッキなどの録画機器の入力端子と、本機のデジタル放送/ビデオ出力端子をつないでください。

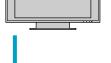
シンクロ録画に設定するには

ホームメニューから「(設定)」→「(予約の設定)」→「録画方法」→「シンクロ録画」の順に選び、「シンクロ録画の開始時間設定」を設定する。
詳しくは、☞「操作・困ったときは編」の「録画予約する」→「録画予約をするための設定をする」をご覧ください。
録画機器側でもシンクロ録画の設定が必要です。録画機器の取扱説明書もご覧ください。

ソニー製DVDレコーダー（スゴ録）は、シンクロ録画での録画をおすすめします。

❶テレビの録画予約が始まり、信号が出力される。

❷録画予約した信号が、録画機器に入力される。

❸録画機器が自動的に録画を開始する。

映像・音声コード（別売り）でつなぐ（☞56ページ）

シンクロ録画機能がある録画機器

録画機器がシンクロ録画に対応しているかは、録画機器側の取扱説明書をご覧ください。

お手持ちの録画機器にシンクロ録画機能がないときは…

AVマウスを使って録画予約する

お手持ちの録画機器にシンクロ録画機能がなくても、AVマウスを使って、本機でデジタル放送を録画予約して、アナログ録画できます。

付属のAVマウスを使うと、本機で録画予約した情報を使って、録画機器をコントロールできます。録画機器側で予約設定しなくてもよいので便利です。
AVマウスを本機につないで録画機器に取り付けてください。

ご注意

AVマウスの接続テストがうまくいかなかったときや、AVマウスを使えないときは、AVマウスをつながないでください。

AVマウスに設定するには

ホームメニューから「(設定)」→「(予約の設定)」→「録画方法」→「AVマウス」の順に選ぶ。
また、AVマウスの設定（☞58ページ）を行ってください。

❶テレビの録画予約が始まり、リモコン信号が出力される。

❷リモコン信号が、AVマウスから録画機器に送信される。

❸録画機器が自動的に録画を開始する。

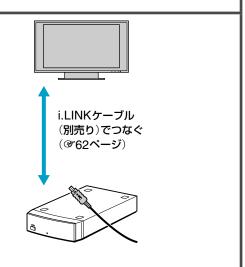
お手持ちの録画機器が本機のi.LINK録画機能に対応しているときは...

i.LINK機器で録画予約する	お手持ちの録画機器がi.LINK対応機器であれば、本機でデジタル放送を録画予約して、デジタル録画できます。

本機とハードディスクレコーダーやブルーレイディスクレコーダー、D-VHSビデオをi.LINKでつないで、デジタル放送を高画質･高音質でデジタル録画できます。

本機のi.LINK対応機種(2005年8月現在推奨機種)

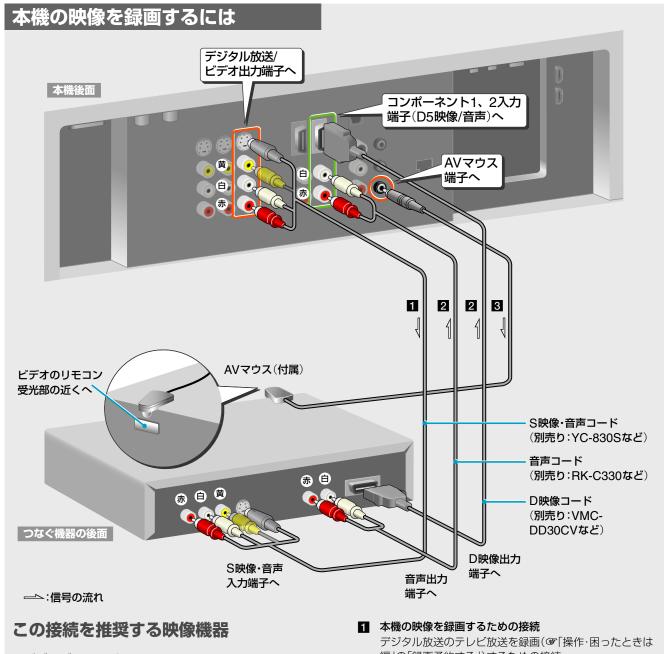
- ソニー製デジタルレコーディングハードディスクドライブVRP-T1/VRP-T3/VRP-T5など
- ソニー製ブルーレイディスクレコーダー BDZ-S77（ソフトウェアアップグレードが必要です）
- 日本ビクター製デジタルハイビジョンビデオHM-DHX2/HM-DHS1/HM-DHX1

i.LINKについて詳しくは、☞「操作･困ったときは編」をご覧ください。

次のページにつづく⇨

録画するための接続（つづき）

つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機の映像を録画するには

この接続を推奨する映像機器

- **ビデオデッキなど**
- **ブルーレイディスクレコーダー**
- **DVDレコーダー**
- **ハードディスクレコーダー**

1 本機の映像を録画するための接続
デジタル放送のテレビ放送を録画（☞「操作・困ったときは編」の「録画予約する」）するための接続。

2 本機で再生するための接続
D映像端子がない録画機器のときは、「本機で再生するための接続」（☞52ページ）をご覧ください。

3 AVマウスを使ってデジタル放送を録画予約するための接続
デジタル放送のテレビ放送を、本機と連動して録画予約できます。AVマウスの設定も行ってください（☞58ページ）。シンクロ録画機能を使って録画予約するときはつながないでください。

ちょっと一言

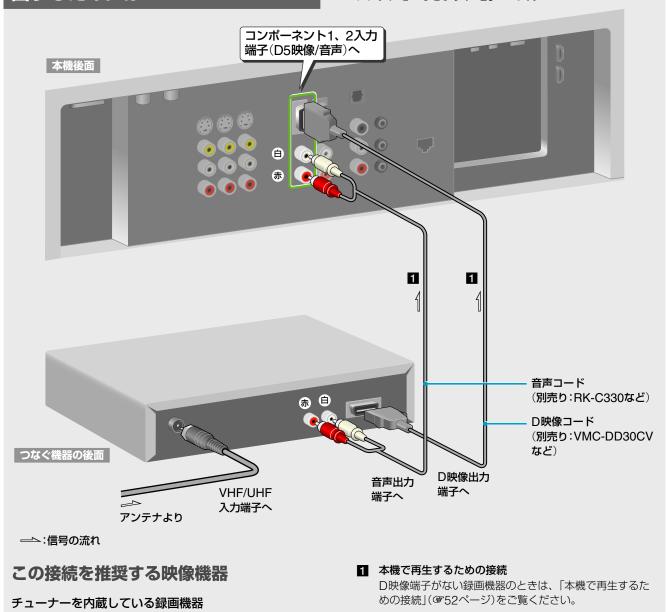
- S映像コードでつないだときは、つないだ機器側で映像入力の設定が必要になることがあります。
- アンテナの接続については「準備2：アンテナをつなぐ」（☞25ページ）をご覧ください。

つなぐ機器のチューナーを使って録画するためには

BS/CSデジタルチューナー内蔵の録画機器のときは
別売りのサテライト分配器で、本機と録画機器の両方に衛星アンテナをつなぎます(☞26ページ)。

この接続を推奨する映像機器

チューナーを内蔵している録画機器

1 本機で再生するための接続
D映像端子がない録画機器のときは、「本機で再生するための接続」(☞52ページ)をご覧ください。

次のページにつづく ⇨

ご注意

衛星アンテナからビデオを経由して本機のBS/110度CS IF入力端子につながないでください。110度CSデジタルを受信できないことがあります。

ちょっと一言

アンテナの接続については「準備2:アンテナをつなぐ」(☞25ページ)をご覧ください。

録画するための接続（つづき）

AVマウスを設定する

AVマウスから発信される信号を、お手持ちのビデオやDVDレコーダー、ハードディスクレコーダーなどのリモコンコードに合わせて設定します。

1 AVマウスを準備する。

1 AVマウスに付属のシールを貼る。

AVマウスに付属のシールのかわりに、市販の両面テープも使えます。

2 AVマウスを本機後面のAVマウス端子につなぐ。

接続のしかたについて詳しくは、☞56ページをご覧ください。

3 AVマウスの取り付け予定位置を決める。

録画機器の取扱説明書で録画機器のリモコン受光部位置を確認し、受光部の真上にAVマウスを置きます。

ご注意

- AVマウス裏面のシールは、まだはがさないでください。
- 取り付け位置によっては、動作しにくい録画機器があります。できるだけ受光部に近い位置に取り付けてください。

4 録画機器の電源を切っておく。

2 リモコンコードを設定する。

1 ホームメニューから「（設定）」→「（予約の設定）」→「AVマウス設定」の順に選ぶ。

AVマウス設定画面が表示されます。

2 ↑/↓で設定欄を選んで、決定を押す。

3 ↑/↓でお使いの録画機器のメーカー名を選ぶ。

「ソニー/アイワ」または「松下」、「東芝」、「日本ビクター」以外のメーカーを選んだときは、手順2-5に進んでください。

4 →で「機器」欄を選んで、↑/↓でお使いの録画機器の種類（☞60ページ）を選ぶ。

5 →で「リモコンコード」欄を選んで、↑/↓でリモコンコードを選ぶ。

手順2-3で「ソニー/アイワ」を選び、手順2-4で「HDD･DVDレコーダー」または「HDD」、「DVDレコーダー」、「BD」を選んだときは、手順2-6へ進んでください。それ以外のときは、手順2-7へ進んでください。

ご注意

次のときはAVマウスは使えません。お手持ちの録画機器の予約機能を使って録画予約してください（☞「操作･困ったときは編」の「録画予約する」）。

– ビデオ一体型テレビ（テレビデオやビデオコンボなど）のとき
– AVマウスのリモコンコードで録画機器が操作できないとき（メーカーによっては、本機で操作できないリモコン信号が採用されているためです。）
– 電源スイッチが入/切の2つの状態切換でなく、入/スタンバイ/切など3つの状態切換になる録画機器のとき

6 ➡で「ライン入力」欄を選んで、⬆/⬇で「入力1」〜「入力3」*1のいずれかを選ぶ。

本機をつないだ入力を選んでください。録画予約開始時に自動的に入力も切り換わります。

*1 手順2-4で「BD」を選んだときは、「入力3」は表示されません。

7 (決定)を押す。

3 動作テストをする。

1 ⬆/⬇で「電源オン／オフ」を選んで、(決定)を押す。

例：ソニー製のHDD搭載DVDレコーダーを選んだとき

AVマウスの動作テストが始まります。録画機器の電源が自動で入れば、テストは完了です。手順3-2に進んでください。

電源が入らないときは

- 手順1-3でAVマウスの位置を再確認してから、もう1度、手順3-1を行う。
- ⬆で設定欄を選んで、(決定)を押したあと、手順2-5〜3-1をくり返して、録画機器を操作できるまで、リモコンコードの設定を変えてテストする。

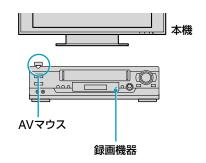
2 「電源オン／オフ」が選ばれていることを確認して、(決定)を押す。

3 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

4 AVマウスを固定する。

1 動作テストが終わったら、AVマウスの裏面のシールをはがす。

2 手順1-3で決めた取り付け予定位置にAVマウスを固定する。

無料番組などで録画予約できる（☞「操作・困ったときは編」の「録画予約する」）ことを、もう1度、確かめてから、お使いになることをおすすめします。

次のページにつづく⇨

ちょっと一言

AVマウスが録画機器に届かないときは、別売りの接続コード RK-G131（3m）で延長してください。

ご注意

- リモコンの受光感度の低い録画機器によっては、AVマウスでの録画予約（☞「操作・困ったときは編」の「録画予約する」）がうまくいかないことがあります。その場合には、AVマウスの取り付け位置を変えてみてください。
- お使いの録画機器によってはリモコンコードが設定できないことがあります。

録画するための接続（つづき）

録画機器の種類

手順2-4で選ぶ録画機器の種類は以下のものがあります。

お手持ちの録画機器（ソニー/アイワ）	録画機器の種類
HDD搭載DVDレコーダー	HDD・DVDレコーダー
ビデオ	VTR
ビデオ一体型DVDレコーダー	DVDレコーダー・VTR
HDD搭載ビデオ一体型DVDレコーダー	HDD・DVDレコーダー・VTR
ハードディスクレコーダー	HDD
DVDレコーダー	DVDレコーダー
DVDプレーヤー一体型ビデオ	DVDプレーヤー・VTR
ブルーレイディスクレコーダー	BD

お手持ちの録画機器（他社）	録画機器の種類
HDD搭載DVDレコーダー HDD搭載ビデオ一体型DVDレコーダー	HDD・DVDレコーダー
ビデオ	VTR
ビデオ一体型DVDレコーダー DVDレコーダー DVDプレーヤー一体型ビデオ	DVDレコーダー・VTR

リモコンコード

手順2-5では、以下のいずれかのAVマウス設定用のリモコンコードを選んでください。

お手持ちの録画機器（ソニー/アイワ）	リモコンコード
HDD搭載DVDレコーダー	1 2 3
ビデオ	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11
ビデオ一体型DVDレコーダー	1 2 3
HDD搭載ビデオ一体型DVDレコーダー	1 2 3
ハードディスクレコーダー	1 2 3
DVDレコーダー	1 2 3
DVDプレーヤー一体型ビデオ	1
ブルーレイディスクレコーダー	1 2 3

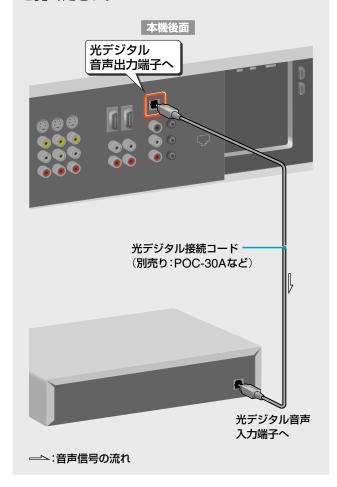
録画予約の前にしておくこと

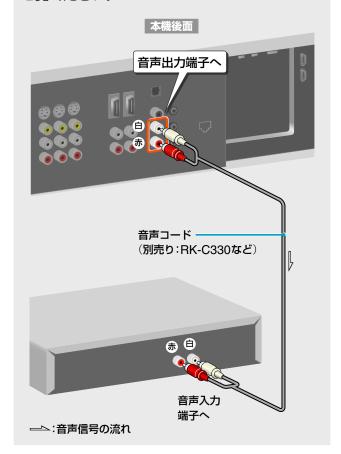
- 「ライン入力」の設定ができない機器は、録画機器側で「入力」をあらかじめ切り換えておいてください。
- 録画機器の電源は切っておいてください。
- 複合機のときは、DVDまたはHDDのうち、録画したいほうを録画機器側で選んでおいてください。機器によっては、どちらか一方でしか録画できないものがあります。

オーディオ機器をつなぐ

光デジタル入力対応のオーディオ機器をつなぐとき

光デジタル音声入力端子を持つ**AVアンプ**や、**サンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキ**などをつなぎます。

つなぐオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

その他のオーディオ機器（2ch入力対応）をつなぐとき

つなぐオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

「光音声出力設定」を「オート」にして、デジタル放送で二重音声の番組を視聴しているときは、光デジタル音声出力端子から音声が出力されない場合があります。

ちょっと一言

オーディオ機器を音声出力端子につないだときは、音声出力端子から出力される音量を本機で調節できます。「（設定）」→「（音声入出力設定）」→「音声外部出力設定」→「可変」の順に選びます。

i.LINK（アイリンク）機器をつなぐ

接続対象機器

ハードディスクレコーダー

2005年8月現在推奨機種

ソニー製デジタルレコーディングハードディスクドライブVRP-T1/VRP-T3/VRP-T5など

D-VHS

2005年8月現在推奨機種

- 日本ビクター製デジタルハイビジョンビデオHM-DHX2、HM-DHX1、HM-DHS1

  この製品に関するお問い合わせ

  日本ビクター株式会社

  お客様ご相談センター

  TEL. 0120-282-817（フリーダイヤル）

  携帯電話やPHSなどから

  東京：TEL. 03-5684-9311

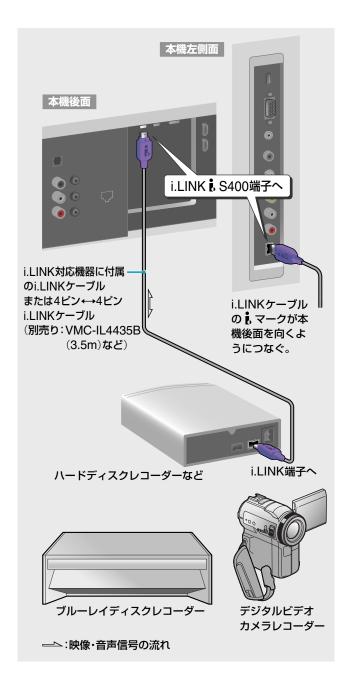
  大阪：TEL. 06-6765-4161

  受付時間：月～金曜日 9:00 ～ 17:00（祝祭日を除く）

デジタルビデオカメラレコーダー

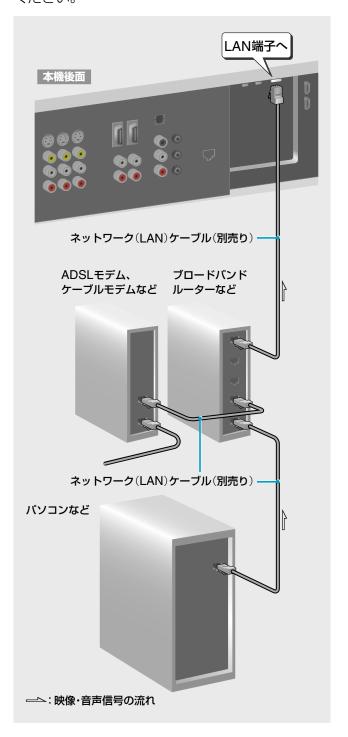
- ソニー製MICROMV方式デジタルビデオカメラレコーダー
- ソニー製DV方式デジタルビデオカメラレコーダー
- ソニー製DVデッキ
- ソニー製HDV規格対応デジタルビデオカメラレコーダー

ブルーレイディスクレコーダー

- ソニー製ブルーレイディスクレコーダーBDZ-S77（ソフトウェアアップグレードが必要です。）

ご注意

- ソニー製D-VHSビデオSLD-DC1は、本機のリモコンで操作できますが、デジタルハイビジョン信号HDは録画できません。
- ソニー製デジタルビデオカメラレコーダー DCR-VX1000はお使いになれません。
- 接続対象機器以外の機器の動作は保証していません。
- i.LINK端子からは、受信中のデジタル放送のデジタル信号が出力されます。（地上アナログや本機につないだビデオやDVDの映像などは出力されません。）

ネットワーク機器をつなぐ

パソコンなどのサーバーに保存されているファイルを本機で楽しむための接続です。接続したら「通信設定をする」（☞48ページ）をしてください。
ネットワーク機器について詳しくは、「操作・困ったときは編」の「ネットワーク機器について」をご覧ください。

ネットワーク（LAN）ケーブルをお使いになるときは

- ネットワーク（LAN）ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。
  モデムやルーターなどの種類により、使用するケーブルの種類が異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 100BASE-TX/10BASE-Tタイプのネットワーク（LAN）ケーブルをお使いください。
  詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。

他機との接続

次のページにつづく⇨

ご注意

ネットワーク機器の設定を変更した場合は、本体の電源スイッチで主電源を入れ直してください。

ちょっと一言

モデムなどについてご不明な点は、ご利用の回線事業者にお問い合わせください。

ネットワーク機器の設定をする

ネットワーク接続されているパソコンなどのサーバーを本機の「接続サーバー」として登録すると、ホームメニューに表示され、選べるようになります。初めて接続したサーバーは自動で登録されます。

接続サーバーを登録するには

「接続サーバー」は最大10台まで登録できます。

1 **ホームボタンを押す。**

2 **←/→で「（設定）」を選ぶ。**

3 **↑/↓で「（ネットワーク機器の設定）」を選んで、決定を押す。**

4 **「接続サーバーの設定」が選ばれていることを確認して、決定を押す。**

5 **↑/↓で「新規に登録する」を選んで、決定を押す。**

6 **↑/↓で「接続サーバー」として登録するサーバーを選んで、決定を押す。**

登録されたサーバー名が表示されます。

7 **戻るボタンを押す。**

確認メッセージが表示されます。

8 **←/→で「はい」を選んで、決定を押す。**

オプションでできること…

● **接続サーバー一覧表示中**

項目	できること
サーバー一覧から削除	選んだサーバーを接続対象から削除します。削除したサーバーは、「接続サーバーを登録するには」（☞左記）の手順で登録し直せます。

ご注意

- 「接続サーバー」がすでに10台登録されているときは、初めて接続したサーバーは登録されません。不要な「接続サーバー」を削除してから、登録し直してください。
- ネットワーク機器によっては、ネットワーク機器側で登録が必要な場合があります。詳しくは、つないだネットワーク機器の取扱説明書をご覧ください。

パソコンやUSB機器をつなぐ

パソコンをつなぐとき

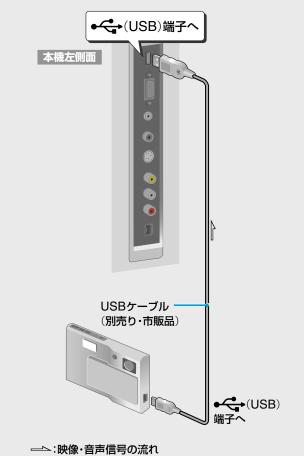
本機を別売りのディスプレイケーブルでパソコンにつなぐと、本機の大画面にパソコンの画面を映し出すことができます。また、別売りの音声コードをつなぐと、本機のスピーカーでパソコンの音声を楽しめます。

:映像・音声信号の流れ

Macintoshコンピューターにつなぐときは

コンピューターの出力端子につなぎます。また、必要に応じて市販のアダプターをお使いください。アダプターは、先にコンピューターに差し込んでから、ディスプレイケーブルにつなぎます。

USB機器をつなぐとき

ソニー製USBインターフェース付デジタルカメラやデジタルビデオカメラレコーダー（DVカム）をつなぎます。

:映像・音声信号の流れ

ソニー製デジタルカメラをUSBでつなぐときは、USB接続の設定を標準（MassStorageモード）にしてください。PTPモードなどその他のモードでは接続できません。USB接続設定について詳しくは、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

USB対応機種について

動作確認機種については下記のホームページで確認してください。
http://www.sony.jp/
動作確認機種以外の機器をつなぐと故障の原因になりますので、つながないでください。なお、USB機器で動作確認されている記録メディアは、ソニー製"メモリースティック"の2GBまでです。他の記録メディアについて動作を保証するものではありません。

本機の（USB）端子について

- Hi-Speed USBに対応しています。
- 一般的なUSB機器に対応するものではありません。
- USB機器を使用しないときは、はずしておいてください。
- ハブおよびハブ内蔵の機器には対応していません。

本機で再生できるファイルについて

- JPEG、MP3、MPEG1形式のファイル
- ファイルサイズが2GB以下のファイル

Gガイドについて

Gガイドについて

本機の番組表機能にはGガイドを採用しています。Gガイドでは、特定の放送局（ホスト局）が地上波テレビ放送を利用して番組表データを配信します。本機は番組表データを1日数回受信し、テレビ画面に表示します。
ホスト局からの放送を受信できる地域にお住まいの場合は、設定を行うだけで、この番組情報サービスを無料にてご利用いただけます。Gガイドの番組情報を利用しているときにGGマークが表示されます。

Gガイドのサービス提供について

Gガイドのサービスは（株）インタラクティブ･プログラム･ガイドが主体となって提供されています。番組表データを配信する（株）インタラクティブ･プログラム･ガイドと放送局（ホスト局）の都合により、データが送信されない場合があります。

Gガイドのサービス地域について

Gガイドを利用した番組表データは、次の放送局より送信されています。

- 北海道地域ー北海道放送（HBC）
- 東北地域ー青森テレビ（ATV）、秋田テレビ（AKT）、岩手放送（IBC）、テレビユー山形（TUY）、東北放送（TBC）、テレビユー福島（TUF）
- 関東地域ー東京放送（TBS）
- 中部地域ー新潟放送（BSN）、信越放送（SBC）、静岡放送（SBS）、中部日本放送（CBC）、テレビ山梨（UTY）、チューリップテレビ（TUT）、北陸放送（MRO）、福井テレビ（FTB）
- 近畿地域ー毎日放送（MBS）
- 中国･四国地域ー山陽放送（RSK）、中国放送（RCC）、テレビ山口（TYS）、山陰放送（BSS）、あいテレビ（ITV）、テレビ高知（KUTV）
- 九州･沖縄地域ーRKB毎日放送（RKB）、長崎放送（NBC）、大分放送（OBS）、熊本放送（RKK）、宮崎放送（MRT）、南日本放送（MBC）、琉球放送（RBC）

ご注意

- お住まいの地域や電波状況によっては、ご利用いただけない場合があります。
- 当社はGガイドを利用した番組表のサービス内容に関与していません。

ガイドチャンネル一覧

Gガイド地域番号･放送局表

「•」の付いている放送局（ホスト局）から番組表のデータが送信されています。

表の中の文字の見かた

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと受信チャンネル（放送局名は略称を使用しています）	
北海道	**札幌** （江別）	001	336→3 （NHK総合） 257→1 （HBC）• 291→35 （HTB） 273→17 （TVh）	346→12 （NHK教育） 261→5 （STV） 283→27 （UHB）
	小樽	002	336→11 （NHK総合） 257→9 （HBC）• 291→4 （HTB） 273→24 （TVh）	346→2 （NHK教育） 261→7 （STV） 283→26 （UHB）
	旭川	003	336→9 （NHK総合） 257→11 （HBC）• 291→39 （HTB） 273→33 （TVh）	346→2 （NHK教育） 261→7 （STV） 283→37 （UHB）
	名寄	004	336→4 （NHK総合） 257→10 （HBC）• 291→24 （HTB） 273→33 （TVh）	346→12 （NHK教育） 261→6 （STV） 283→26 （UHB）
	稚内	005	336→28 （NHK総合） 257→10 （HBC）• 291→24 （HTB） 273→33 （TVh）	346→30 （NHK教育） 261→22 （STV） 283→26 （UHB）
	室蘭	006	336→9 （NHK総合） 257→11 （HBC）• 291→39 （HTB） 273→29 （TVh）	346→2 （NHK教育） 261→7 （STV） 283→37 （UHB）
	苫小牧	007	336→51 （NHK総合） 257→55 （HBC）• 291→61 （HTB） 273→47 （TVh）	346→49 （NHK教育） 261→57 （STV） 283→53 （UHB）
	函館	008	336→4 （NHK総合） 257→6 （HBC）• 291→35 （HTB） 273→21 （TVh）	346→10 （NHK教育） 261→12 （STV） 283→27 （UHB）
	帯広	009	336→4 （NHK総合） 257→6 （HBC）• 291→34 （HTB）	346→12 （NHK教育） 261→10 （STV） 283→32 （UHB）
	釧路	010	336→9 （NHK総合） 257→11 （HBC）• 291→39 （HTB） 273→29 （TVh）	346→2 （NHK教育） 261→7 （STV） 283→41 （UHB）
	網走	011	336→3 （NHK総合） 257→1 （HBC）• 291→35 （HTB）	346→12 （NHK教育） 261→5 （STV） 283→27 （UHB）
	北見	012	336→9 （NHK総合） 257→53 （HBC）• 291→61 （HTB）	346→2 （NHK教育） 261→7 （STV） 283→59 （UHB）

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと受信チャンネル（放送局名は略称を使用しています）	
青森	青森 （弘前）	013	592→3 （NHK総合） 513→1 （青森放送） 290→34 （青森朝日）	602→5 （NHK教育） 294→38 （青森テレビ）●
	八戸	014	592→9 （NHK総合） 513→11 （青森放送） 290→31 （青森朝日）	602→7 （NHK教育） 294→33 （青森テレビ）●
	むつ	015	592→4 （NHK総合） 513→10 （青森放送） 290→56 （青森朝日）	602→12 （NHK教育） 294→58 （青森テレビ）●
岩手	盛岡	016	848→4 （NHK総合） 262→6 （IBC）● 289→33 （めんこい）	858→8 （NHK教育） 547→35 （テレビ岩手） 276→31 （IAT）
	釜石	017	848→2 （NHK総合） 262→10 （IBC）● 289→60 （めんこい）	858→12 （NHK教育） 547→58 （テレビ岩手） 276→62 （IAT）
	二戸	018	848→5 （NHK総合） 262→2 （IBC）● 289→29 （めんこい）	858→12 （NHK教育） 547→37 （テレビ岩手） 276→27 （IAT）
宮城	仙台	019	1104→3 （NHK総合） 769→1 （TBC）● 546→34 （宮城テレビ）	1114→5 （NHK教育） 268→12 （仙台放送） 288→32 （東日本放送）
	石巻	020	1104→51 （NHK総合） 769→59 （TBC）● 546→55 （宮城テレビ）	1114→49 （NHK教育） 268→57 （仙台放送） 288→61 （東日本放送）
	気仙沼	021	1104→2 （NHK総合） 769→4 （TBC）● 546→37 （宮城テレビ）	1114→10 （NHK教育） 268→6 （仙台放送） 288→43 （東日本放送）
秋田	秋田	022	1360→9 （NHK総合） 267→11 （秋田放送） 287→31 （秋田朝日）	1370→2 （NHK教育） 293→37 （秋田テレビ）●
	大館	023	1360→4 （NHK総合） 267→6 （秋田放送） 287→59 （秋田朝日）	1370→8 （NHK教育） 293→57 （秋田テレビ）●
	大曲	024	1360→45 （NHK総合） 267→47 （秋田放送） 287→41 （秋田朝日）	1370→43 （NHK教育） 293→51 （秋田テレビ）●
山形	山形	025	1616→8 （NHK総合） 266→10 （山形放送） 292→36 （TUY）●	1626→4 （NHK教育） 550→38 （山形テレビ） 286→30 （SAY）
	鶴岡 （酒田）	026	1616→3 （NHK総合） 266→1 （山形放送） 292→22 （TUY）●	1626→6 （NHK教育） 550→39 （山形テレビ） 286→24 （SAY）
	米沢	027	1616→52 （NHK総合） 266→54 （山形放送） 292→56 （TUY）●	1626→50 （NHK教育） 550→58 （山形テレビ） 286→60 （SAY）
福島	福島 （郡山）	028	1872→9 （NHK総合） 523→11 （福島テレビ） 803→35 （福島放送）	1882→2 （NHK教育） 545→33 （福島中央テレビ） 543→31 （TUF）●
	いわき	029	1872→4 （NHK総合） 523→8 （福島テレビ） 803→60 （福島放送）	1882→10 （NHK教育） 545→58 （福島中央テレビ） 543→62 （TUF）●
	会津若松	030	1872→1 （NHK総合） 523→6 （福島テレビ） 803→41 （福島放送）	1882→3 （NHK教育） 545→37 （福島中央テレビ） 543→47 （TUF）●
茨城	水戸	031	2128→44 （NHK総合） 260→42 （日本テレビ） 264→38 （フジテレビ） 524→32 （テレビ東京） 270→14 （MXテレビ）	2138→46 （NHK教育） 518→40 （TBS）● 522→36 （テレビ朝日） 302→39 （ちばテレビ）
	日立	032	2128→52 （NHK総合） 260→54 （日本テレビ） 264→58 （フジテレビ） 524→62 （テレビ東京） 270→14 （MXテレビ）	2138→50 （NHK教育） 518→56 （TBS）● 522→60 （テレビ朝日） 302→39 （ちばテレビ）
栃木	宇都宮	033	2128→51 （NHK総合） 260→53 （日本テレビ） 264→57 （フジテレビ） 524→44 （テレビ東京） 270→14 （MXテレビ）	2138→49 （NHK教育） 518→55 （TBS）● 522→41 （テレビ朝日） 535→31 （とちぎテレビ）
	矢板	034	2128→40 （NHK総合） 260→36 （日本テレビ） 264→45 （フジテレビ） 524→61 （テレビ東京） 270→14 （MXテレビ）	2138→30 （NHK教育） 518→42 （TBS）● 522→59 （テレビ朝日） 535→31 （とちぎテレビ） 535→33 （とちぎテレビ）

*1 NHK総合を52チャンネルでご覧の方は「横浜1」を、それ以外の方は「横浜2」を選んでください。どちらかわからない方は「横浜2」を選び、受信状態を確認してください。正しく受信できないときは、「横浜1」を選び直してください。

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと受信チャンネル（放送局名は略称を使用しています）	
群馬	前橋 （伊勢崎・高崎）	035	2128→52 （NHK総合） 260→54 （日本テレビ） 264→58 （フジテレビ） 524→62 （テレビ東京） 806→38 （テレビ埼玉）	2138→50 （NHK教育） 518→56 （TBS）● 522→60 （テレビ朝日） 270→14 （MXテレビ） 304→48 （群馬テレビ）
	桐生	036	2128→51 （NHK総合） 260→53 （日本テレビ） 264→35 （フジテレビ） 304→41 （群馬テレビ） 270→14 （MXテレビ）	2138→57 （NHK教育） 518→55 （TBS）● 522→59 （テレビ朝日） 524→61 （テレビ東京） 806→38 （テレビ埼玉）
埼玉	さいたま	037	2128→1 （NHK総合） 260→4 （日本テレビ） 264→8 （フジテレビ） 524→12 （テレビ東京） 270→14 （MXテレビ）	2138→3 （NHK教育） 518→6 （TBS）● 522→10 （テレビ朝日） 806→38 （テレビ埼玉）
	熊谷	038	2128→51 （NHK総合） 260→53 （日本テレビ） 264→57 （フジテレビ） 524→61 （テレビ東京）	2138→35 （NHK教育） 518→55 （TBS）● 522→59 （テレビ朝日） 806→30 （テレビ埼玉）
	秩父	039	2128→14 （NHK総合） 260→16 （日本テレビ） 264→29 （フジテレビ） 524→44 （テレビ東京）	2138→49 （NHK教育） 518→18 （TBS）● 522→38 （テレビ朝日） 806→47 （テレビ埼玉）
千葉	千葉	040	2128→1 （NHK総合） 260→4 （日本テレビ） 264→8 （フジテレビ） 524→12 （テレビ東京） 298→42 （tvk）	2138→3 （NHK教育） 518→6 （TBS）● 522→10 （テレビ朝日） 302→46 （ちばテレビ） 270→14 （MXテレビ）
	銚子	041	2128→51 （NHK総合） 260→53 （日本テレビ） 264→57 （フジテレビ） 524→61 （テレビ東京） 298→42 （tvk）	2138→49 （NHK教育） 518→55 （TBS）● 522→59 （テレビ朝日） 302→39 （ちばテレビ）
東京	23区	042	2128→1 （NHK総合） 260→4 （日本テレビ） 264→8 （フジテレビ） 524→12 （テレビ東京） 298→42 （tvk） 270→14 （MXテレビ）	2138→3 （NHK教育） 518→6 （TBS）● 522→10 （テレビ朝日） 302→46 （ちばテレビ） 806→38 （テレビ埼玉）
	八王子	043	2128→33 （NHK総合） 260→35 （日本テレビ） 264→31 （フジテレビ） 524→62 （テレビ東京） 298→42 （tvk） 270→14 （MXテレビ）	2138→29 （NHK教育） 518→37 （TBS）● 522→45 （テレビ朝日） 302→46 （ちばテレビ） 806→38 （テレビ埼玉）
	多摩	044	2128→49 （NHK総合） 260→51 （日本テレビ） 264→55 （フジテレビ） 524→59 （テレビ東京） 298→42 （tvk） 270→61 （MXテレビ）	2138→47 （NHK教育） 518→53 （TBS）● 522→57 （テレビ朝日） 302→46 （ちばテレビ） 806→38 （テレビ埼玉）
神奈川	横浜1*1	045	2128→52 （NHK総合） 260→54 （日本テレビ） 264→58 （フジテレビ） 524→62 （テレビ東京） 270→14 （MXテレビ）	2138→50 （NHK教育） 518→56 （TBS）● 522→60 （テレビ朝日） 298→48 （tvk）
	横浜2*1	046	2128→1 （NHK総合） 260→4 （日本テレビ） 264→8 （フジテレビ） 524→12 （テレビ東京） 270→14 （MXテレビ）	2138→3 （NHK教育） 518→6 （TBS）● 522→10 （テレビ朝日） 298→42 （tvk）
	平塚 （茅ヶ崎）	047	2128→33 （NHK総合） 260→35 （日本テレビ） 264→39 （フジテレビ） 524→43 （テレビ東京） 270→14 （MXテレビ）	2138→29 （NHK教育） 518→37 （TBS）● 522→41 （テレビ朝日） 298→31 （tvk）
	秦野	048	2128→47 （NHK総合） 260→51 （日本テレビ） 264→55 （フジテレビ） 524→59 （テレビ東京） 270→14 （MXテレビ）	2138→49 （NHK教育） 518→53 （TBS）● 522→57 （テレビ朝日） 298→61 （tvk）
	小田原	049	2128→52 （NHK総合） 260→54 （日本テレビ） 264→58 （フジテレビ） 524→62 （テレビ東京） 270→14 （MXテレビ）	2138→50 （NHK教育） 518→56 （TBS）● 522→60 （テレビ朝日） 298→46 （tvk）

次のページにつづく⇨

Gガイドについて（つづき）

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと受信チャンネル（放送局名は略称を使用しています）	
山梨	甲府	050	2896→1 （NHK総合） 773→5 （山梨放送）	2906→3 （NHK教育） 549→37 （UTY）●
長野	長野1*2	051	2640→44（NHK総合） 779→48 （SBC）● 542→40 （テレビ信州）	2650→46（NHK教育） 1062→42（長野放送） 532→50 （長野朝日）
	長野2*2	052	2640→2 （NHK総合） 779→11 （SBC）● 542→30 （テレビ信州）	2650→9 （NHK教育） 1062→38（長野放送） 532→20 （長野朝日）
	松本	053	2640→44（NHK総合） 542→48 （テレビ信州） 1062→42（長野放送）	2650→46（NHK教育） 779→40 （SBC）● 532→50 （長野朝日）
	飯田	054	2640→4 （NHK総合） 779→6 （SBC）● 542→42 （テレビ信州）	2650→3 （NHK教育） 1062→40（長野放送） 532→44 （長野朝日）
	岡谷·諏訪	055	2640→4 （NHK総合） 542→59 （テレビ信州） 1062→47（長野放送）	2650→8 （NHK教育） 779→6 （SBC）● 532→61 （長野朝日）
新潟	新潟（長岡）	056	2384→8 （NHK総合） 517→5 （BSN）● 285→29 （テレビ新潟）	2394→12（NHK教育） 1059→35（新潟総合テレビ） 277→21 （テレビ21）
	上越	057	2384→3 （NHK総合） 517→10 （BSN）● 285→27 （テレビ新潟）	2394→1 （NHK教育） 1059→33（新潟総合テレビ） 277→37 （テレビ21）
富山	富山	058	3152→3 （NHK総合） 1025→1 （北日本放送） 544→32 （チューリップ）●	3162→10（NHK教育） 802→34 （富山テレビ）
	高岡	059	3152→48（NHK総合） 1025→50（北日本放送） 544→42 （チューリップ）●	3162→46（NHK教育） 802→44 （富山テレビ）
石川	金沢（小松）	060	3408→4 （NHK総合） 774→6 （北陸放送）● 801→33 （テレビ金沢）	3418→8 （NHK教育） 805→37 （石川テレビ） 281→25 （北陸朝日）
	七尾	061	3408→9 （NHK総合） 774→11 （北陸放送）● 801→57 （テレビ金沢）	3418→5 （NHK教育） 805→55 （石川テレビ） 281→59 （北陸朝日）
福井	福井	062	3664→9 （NHK総合） 1035→11（福井放送）	3674→3 （NHK教育） 295→39 （福井テレビ）●
	敦賀	063	3664→6 （NHK総合） 1035→8 （福井放送）	3674→12（NHK教育） 295→38 （福井テレビ）●
岐阜	岐阜（大垣）	064	4176→39（NHK総合） 1029→5 （CBC）● 1547→11（メ~テレ） 1061→37（岐阜放送） 1313→33（三重テレビ）	4186→9 （NHK教育） 1281→1 （東海テレビ） 1571→35（中京テレビ） 537→25 （テレビ愛知）
	高山	065	4176→4 （NHK総合） 1029→6 （CBC）● 1547→12（メ~テレ） 1061→38（岐阜放送） 1313→33（三重テレビ）	4186→2 （NHK教育） 1281→8 （東海テレビ） 1571→26（中京テレビ） 537→25 （テレビ愛知）
	中津川	066	4176→4 （NHK総合） 1029→8 （CBC）● 1547→6 （メ~テレ） 1061→28（岐阜放送） 1313→33（三重テレビ）	4186→12（NHK教育） 1281→10（東海テレビ） 1571→26（中京テレビ） 537→25 （テレビ愛知）
静岡	静岡（清水·焼津）	067	3920→9 （NHK総合） 1291→11（静岡放送）● 1057→33（静岡朝日テレビ）	3930→2 （NHK教育） 1315→35（テレビ静岡） 799→31 （静岡第一）
	浜松	068	3920→4 （NHK総合） 1291→6 （静岡放送）● 1057→28（静岡朝日テレビ）	3930→8 （NHK教育） 1315→34（テレビ静岡） 799→30 （静岡第一）
	富士（富士宮）	069	3920→52（NHK総合） 1291→41（静岡放送）● 1057→29（静岡朝日テレビ）	3930→54（NHK教育） 1315→39（テレビ静岡） 799→27 （静岡第一）
	三島·沼津	070	3920→53（NHK総合） 1291→55（静岡放送）● 1057→57（静岡朝日テレビ）	3930→51（NHK教育） 1315→59（テレビ静岡） 799→61 （静岡第一）
	島田	071	3920→1 （NHK総合） 1291→5 （静岡放送）● 1057→50（静岡朝日テレビ）	3930→3 （NHK教育） 1315→58（テレビ静岡） 799→48 （静岡第一）
	藤枝	072	3920→42（NHK総合） 1291→40（静岡放送）● 1057→26（静岡朝日テレビ）	3930→44（NHK教育） 1315→38（テレビ静岡） 799→24 （静岡第一）

*2 NHK総合を44チャンネルでご覧の方は「長野1」を、それ以外の方は「長野2」を選んでください。どちらかわからない方は「長野2」を選び、受信状態を確認してください。正しく受信できないときは、「長野1」を選び直してください。

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと受信チャンネル（放送局名は略称を使用しています）	
愛知	名古屋	073	4176→3 （NHK総合） 1029→5 （CBC）● 1547→11（メ~テレ） 537→25 （テレビ愛知） 1061→37（岐阜放送）	4186→9 （NHK教育） 1281→1 （東海テレビ） 1571→35（中京テレビ） 1313→33（三重テレビ）
	豊橋（豊川）	074	4176→54（NHK総合） 1029→62（CBC）● 1547→60（メ~テレ） 537→52 （テレビ愛知） 1061→37（岐阜放送）	4186→50（NHK教育） 1281→56（東海テレビ） 1571→58（中京テレビ） 1313→33（三重テレビ）
	豊田	075	4176→53（NHK総合） 1029→55（CBC）● 1547→61（メ~テレ） 537→49 （テレビ愛知） 1061→37（岐阜放送）	4186→51（NHK教育） 1281→57（東海テレビ） 1571→59（中京テレビ） 1313→33（三重テレビ）
三重	津	076	4176→31（NHK総合） 1029→5 （CBC）● 1547→11（メ~テレ） 1313→33（三重テレビ）	4186→9 （NHK教育） 1281→1 （東海テレビ） 1571→35（中京テレビ） 537→25 （テレビ愛知）
	伊勢	077	4176→53（NHK総合） 1029→55（CBC）● 1547→61（メ~テレ） 1313→59（三重テレビ）	4186→49（NHK教育） 1281→57（東海テレビ） 1571→47（中京テレビ） 537→25 （テレビ愛知）
	名張	078	4176→52（NHK総合） 1029→60（CBC）● 1547→56（メ~テレ） 1313→58（三重テレビ）	4186→50（NHK教育） 1281→62（東海テレビ） 1571→54（中京テレビ） 537→25 （テレビ愛知）
滋賀	大津	079	4432→28（NHK総合） 516→36 （毎日放送）● 520→40 （関西テレビ） 798→30 （びわ湖放送）	4442→46（NHK教育） 1030→38（朝日放送） 778→42 （読売テレビ） 1058→34（京都テレビ）
	彦根	080	4432→52（NHK総合） 516→54 （毎日放送）● 520→60 （関西テレビ） 798→56 （びわ湖放送）	4442→50（NHK教育） 1030→58（朝日放送） 778→62 （読売テレビ） 1058→34（京都テレビ）
京都	京都（宇治）	081	4432→2 （NHK総合） 516→4 （毎日放送）● 520→8 （関西テレビ） 1058→34（京都テレビ） 548→36 （サンテレビ）	4442→12（NHK教育） 1030→6 （朝日放送） 778→10 （読売テレビ） 275→19 （テレビ大阪）
	舞鶴	082	4432→51（NHK総合） 516→53 （毎日放送）● 520→59 （関西テレビ） 1058→57（京都テレビ） 548→36 （サンテレビ）	4442→49（NHK教育） 1030→55（朝日放送） 778→61 （読売テレビ） 275→19 （テレビ大阪）
	福知山	083	4432→50（NHK総合） 516→54 （毎日放送）● 520→60 （関西テレビ） 1058→56（京都テレビ） 548→36 （サンテレビ）	4442→52（NHK教育） 1030→58（朝日放送） 778→62 （読売テレビ） 275→19 （テレビ大阪）
大阪	大阪	084	4432→2 （NHK総合） 516→4 （毎日放送）● 520→8 （関西テレビ） 275→19 （テレビ大阪） 548→36 （サンテレビ）	4442→12（NHK教育） 1030→6 （朝日放送） 778→10 （読売テレビ） 1058→34（京都テレビ）
兵庫	神戸	085	4432→28（NHK総合） 516→31 （毎日放送）● 520→43 （関西テレビ） 548→36 （サンテレビ）	4442→45（NHK教育） 1030→41（朝日放送） 778→47 （読売テレビ） 275→19 （テレビ大阪）
	神戸灘	086	4432→52（NHK総合） 516→54 （毎日放送）● 520→58 （関西テレビ） 548→62 （サンテレビ）	4442→50（NHK教育） 1030→56（朝日放送） 778→60 （読売テレビ） 275→19 （テレビ大阪）
	川西	087	4432→29（NHK総合） 516→35 （毎日放送）● 520→39 （関西テレビ） 548→33 （サンテレビ）	4442→31（NHK教育） 1030→37（朝日放送） 778→41 （読売テレビ） 275→19 （テレビ大阪）
	三木	088	4432→44（NHK総合） 516→34 （毎日放送）● 520→40 （関西テレビ） 548→36 （サンテレビ）	4442→46（NHK教育） 1030→38（朝日放送） 778→42 （読売テレビ） 275→19 （テレビ大阪）
	姫路	089	4432→50（NHK総合） 516→54 （毎日放送）● 520→60 （関西テレビ） 548→56 （サンテレビ）	4442→52（NHK教育） 1030→58（朝日放送） 778→62 （読売テレビ） 275→19 （テレビ大阪）
	明石（加古川）	090	4432→51（NHK総合） 516→53 （毎日放送）● 520→59 （関西テレビ） 548→55 （サンテレビ）	4442→49（NHK教育） 1030→57（朝日放送） 778→61 （読売テレビ） 275→19 （テレビ大阪）

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと受信チャンネル（放送局名は略称を使用しています）	
奈良	奈良	091	4432→51（NHK総合） 516→4（毎日放送）● 520→8（関西テレビ） 311→55（奈良テレビ） 1058→34（京都テレビ）	4442→12（NHK教育） 1030→6（朝日放送） 778→10（読売テレビ） 548→36（サンテレビ） 275→19（テレビ大阪）
	五條	092	4432→43（NHK総合） 516→33（毎日放送）● 520→37（関西テレビ） 311→41（奈良テレビ） 1058→34（京都テレビ）	4442→45（NHK教育） 1030→35（朝日放送） 778→39（読売テレビ） 548→36（サンテレビ） 275→19（テレビ大阪）
和歌山	和歌山	093	4432→32（NHK総合） 516→42（毎日放送）● 520→46（関西テレビ） 1054→30（テレビ和歌山）	4442→25（NHK教育） 1030→44（朝日放送） 778→48（読売テレビ）
	海南·田辺	094	4432→50（NHK総合） 516→54（毎日放送）● 520→60（関西テレビ） 1054→56（テレビ和歌山）	4442→52（NHK教育） 1030→58（朝日放送） 778→62（読売テレビ）
鳥取	鳥取	095	4688→3（NHK総合） 1537→1（日本海テレビ） 1314→24（山陰中央）	4698→4（NHK教育） 1034→22（BSS）●
島根	松江	096	4944→6（NHK総合） 1034→10（BSS）● 1537→30（日本海テレビ）	4954→12（NHK教育） 1314→34（山陰中央）
	浜田	097	4944→2（NHK総合） 1034→5（BSS）● 1537→54（日本海テレビ）	4954→9（NHK教育） 1314→58（山陰中央）
岡山	岡山（倉敷）	098	5200→5（NHK総合） 1803→11（RSK）● 279→23（テレビせとうち） 1569→25（KSB）	5210→3（NHK教育） 1827→35（OHK） 265→9（西日本放送）
	津山	099	5200→2（NHK総合） 1803→7（RSK）● 279→56（テレビせとうち） 1569→62（KSB）	5210→12（NHK教育） 1827→60（OHK） 265→58（西日本放送）
	笠岡	100	5200→2（NHK総合） 1803→6（RSK）● 279→22（テレビせとうち） 1569→55（KSB）	5210→4（NHK教育） 1827→60（OHK） 265→34（西日本放送）
広島	広島	101	5456→3（NHK総合） 772→4（RCC）● 2083→35（広島ホーム）	5466→7（NHK教育） 780→12（広島テレビ） 1055→31（TSS）
	福山	102	5456→5（NHK総合） 772→7（RCC）● 2083→57（広島ホーム）	5466→3（NHK教育） 780→11（広島テレビ） 1055→54（TSS）
	尾道	103	5456→1（NHK総合） 772→10（RCC）● 2083→24（広島ホーム）	5466→7（NHK教育） 780→12（広島テレビ） 1055→26（TSS）
	呉	104	5456→11（NHK総合） 772→9（RCC）● 2083→24（広島ホーム）	5466→1（NHK教育） 780→5（広島テレビ） 1055→26（TSS）
山口	山口（徳山·防府）	105	5712→9（NHK総合） 2059→11（山口放送） 284→28（山口朝日）	5722→1（NHK教育） 1318→38（テレビ山口）●
	下関	106	5712→39（NHK総合） 2059→4（山口放送） 284→21（山口朝日）	5722→41（NHK教育） 1318→33（テレビ山口）●
	宇部	107	5712→58（NHK総合） 2059→61（山口放送） 284→24（山口朝日）	5722→55（NHK教育） 1318→44（テレビ山口）●
	岩国	108	5712→9（NHK総合） 2059→11（山口放送） 284→28（山口朝日）	5722→1（NHK教育） 1318→62（テレビ山口）●
徳島	徳島	109	5968→3（NHK総合） 1793→1（四国放送） 1030→6（朝日放送）	5978→38（NHK教育） 516→4（毎日放送）● 520→8（関西テレビ）
香川	高松	110	6224→37（NHK総合） 1569→33（KSB） 1803→29（RSK）● 279→19（テレビせとうち）	6234→39（NHK教育） 265→41（西日本放送） 1827→31（OHK）
	丸亀	111	6224→44（NHK総合） 1569→42（KSB） 1803→48（RSK）● 279→46（テレビせとうち）	6234→40（NHK教育） 265→50（西日本放送） 1827→52（OHK）

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと受信チャンネル（放送局名は略称を使用しています）	
愛媛	松山	112	6480→6（NHK総合） 1290→10（南海放送） 541→29（あいテレビ）●	6490→2（NHK教育） 1317→37（テレビ愛媛） 793→25（愛媛朝日）
	新居浜	113	6480→2（NHK総合） 1290→6（南海放送） 541→16（あいテレビ）●	6490→4（NHK教育） 1317→36（テレビ愛媛） 793→14（愛媛朝日）
	今治	114	6480→58（NHK総合） 1290→34（南海放送） 541→27（あいテレビ）●	6490→55（NHK教育） 1317→36（テレビ愛媛） 793→17（愛媛朝日）
	宇和島	115	6480→6（NHK総合） 1290→10（南海放送） 541→25（あいテレビ）●	6490→1（NHK教育） 1317→27（テレビ愛媛） 793→16（愛媛朝日）
高知	高知	116	6736→4（NHK総合） 776→8（高知放送） 296→40（KSS）	6746→6（NHK教育） 1574→38（KUTV）●
福岡	福岡	117	6992→3（NHK総合） 1028→4（RKB毎日）● 521→9（TNC） 531→19（TVQ）	7002→6（NHK教育） 2049→1（KBC） 1573→37（FBS）
	久留米	118	6992→46（NHK総合） 1028→48（RKB毎日）● 521→60（TNC） 531→14（TVQ）	7002→54（NHK教育） 2049→57（KBC） 1573→52（FBS）
	大牟田	119	6992→53（NHK総合） 1028→61（RKB毎日）● 521→55（TNC） 531→19（TVQ）	7002→50（NHK教育） 2049→58（KBC） 1573→43（FBS）
	北九州	120	6992→6（NHK総合） 1028→8（RKB毎日）● 521→10（TNC） 531→23（TVQ）	7002→12（NHK教育） 2049→2（KBC） 1573→35（FBS）
	行橋	121	6992→49（NHK総合） 1028→60（RKB毎日）● 521→54（TNC） 531→19（TVQ）	7002→46（NHK教育） 2049→57（KBC） 1573→43（FBS）
佐賀	佐賀	122	7760→38（NHK総合） 804→36（STS） 1573→52（FBS） 1028→48（RKB毎日）●	7770→40（NHK教育） 2315→11（熊本放送）● 531→14（TVQ） 2049→57（KBC）
長崎	長崎	123	7248→3（NHK総合） 1285→5（NBC）● 539→27（長崎文化）	7258→1（NHK教育） 1829→37（テレビ長崎） 1049→25（長崎国際）
	佐世保	124	7248→8（NHK総合） 1285→10（NBC）● 539→31（長崎文化）	7258→2（NHK教育） 1829→35（テレビ長崎） 1049→17（長崎国際）
	諫早	125	7248→59（NHK総合） 1285→62（NBC）● 539→56（長崎文化） 7258→51（NHK教育）	7258→6（NHK教育） 1829→39（テレビ長崎） 1049→32（長崎国際）
熊本	熊本（八代）	126	7504→9（NHK総合） 2315→11（熊本放送）● 278→22（KKT）	7514→2（NHK教育） 1570→34（TKU） 528→16（熊本朝日）
大分	大分（別府）	127	8016→3（NHK総合） 1541→5（OBS）● 280→24（OAB）	8026→12（NHK教育） 1060→36（TOS）
	中津	128	8016→48（NHK総合） 1541→51（OBS）● 280→17（OAB）	8026→45（NHK教育） 1060→37（TOS）
宮崎	宮崎（都城）	129	8272→8（NHK総合） 1546→10（宮崎放送）●	8282→12（NHK教育） 2339→35（テレビ宮崎）
	延岡	130	8272→4（NHK総合） 1546→6（宮崎放送）●	8282→2（NHK教育） 2339→39（テレビ宮崎）
鹿児島	鹿児島	131	8528→3（NHK総合） 2305→1（MBC）● 800→32（鹿児島放送）	8538→5（NHK教育） 1830→38（KTS） 1310→30（鹿児島読売）
	阿久根	132	8528→8（NHK総合） 2305→10（MBC）● 800→23（鹿児島放送）	8538→12（NHK教育） 1830→35（KTS） 1310→17（鹿児島読売）
	鹿屋	133	8528→4（NHK総合） 2305→6（MBC）● 800→31（鹿児島放送）	8538→2（NHK教育） 1830→33（KTS） 1310→25（鹿児島読売）
沖縄	沖縄	134	8784→2（NHK総合） 1802→10（RBC）● 540→28（QAB）	8794→12（NHK教育） 1032→8（OTV）

地上デジタル放送・地域別チャンネル割り当て一覧表

リモコンの(1)～(12)の数字ボタンに割り当てられる地上デジタルの放送局は下記のとおりです(2005年8月現在は放送を開始していない放送局もあります)。

「準備6:お買い上げ時の初期設定をする[かんたん設定]」(☞31ページ)を行うと、各数字ボタンに放送局が自動的に割り当てられます。引越しや新しく放送局が開設されるなどでチャンネルを割り当て直したいときは、「地上デジタル放送の設定をする」(☞41ページ)をご覧になり、チャンネルスキャンをやり直してください。また、各都道府県名の欄にない放送局を受信できる場合もあります。このときは数字ボタンに空きがあれば、その放送局を自動的に任意の番号として割り当てます。

都道府県名	放送局名	数字ボタン
北海道(帯広)	NHK総合・帯広	③
	NHK教育・帯広	②
	HBC帯広	①
	STV帯広	⑤
	HTB帯広	⑥
	UHB帯広	⑧
	TVH帯広	⑦
北海道(釧路)	NHK総合・釧路	③
	NHK教育・釧路	②
	HBC釧路	①
	STV釧路	⑤
	HTB釧路	⑥
	UHB釧路	⑧
	TVH釧路	⑦
北海道(北見)	NHK総合・北見	③
	NHK教育・北見	②
	HBC北見	①
	STV北見	⑤
	HTB北見	⑥
	UHB北見	⑧
	TVH北見	⑦
北海道(旭川)	NHK総合・旭川	③
	NHK教育・旭川	②
	HBC旭川	①
	STV旭川	⑤
	HTB旭川	⑥
	UHB旭川	⑧
	TVH旭川	⑦
北海道(札幌)	NHK総合・札幌	③
	NHK教育・札幌	②
	HBC札幌	①
	STV札幌	⑤
	HTB札幌	⑥
	UHB札幌	⑧
	TVH札幌	⑦
北海道(函館)	NHK総合・函館	③
	NHK教育・函館	②
	HBC函館	①
	STV函館	⑤
	HTB函館	⑥
	UHB函館	⑧
	TVH函館	⑦
北海道(室蘭)	NHK総合・室蘭	③
	NHK教育・室蘭	②
	HBC室蘭	①
	STV室蘭	⑤
	HTB室蘭	⑥
	UHB室蘭	⑧
	TVH室蘭	⑦

都道府県名	放送局名	数字ボタン
青森	NHK総合・青森	③
	NHK教育・青森	②
	RAB青森放送	①
	ATV青森テレビ	⑥
	青森朝日放送	⑤
岩手	NHK総合・盛岡	①
	NHK教育・盛岡	②
	IBCテレビ	⑥
	テレビ岩手	④
	めんこいテレビ	⑧
	岩手朝日テレビ	⑤
宮城	NHK総合・仙台	③
	NHK教育・仙台	②
	TBCテレビ	①
	仙台放送	⑧
	ミヤギテレビ	④
	KHB東日本放送	⑤
秋田	NHK総合・秋田	①
	NHK教育・秋田	②
	ABS秋田放送	④
	AKT秋田テレビ	⑧
	AAB秋田朝日放送	⑤
山形	NHK総合・山形	①
	NHK教育・山形	②
	YBC山形放送	④
	YTS山形テレビ	⑤
	テレビユー山形	⑥
	さくらんぼテレビ	⑧
福島	NHK総合・福島	①
	NHK教育・福島	②
	福島テレビ	⑧
	福島中央テレビ	④
	KFB福島放送	⑤
	テレビユー福島	⑥
茨城	NHK総合・水戸	①
	NHK教育・東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	放送大学	⑫
栃木	NHK総合・東京	①
	NHK教育・東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	とちぎテレビ	③
	放送大学	⑫

都道府県名	放送局名	数字ボタン
群馬	NHK総合・東京	①
	NHK教育・東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	群馬テレビ	③
	放送大学	⑫
埼玉	NHK総合・東京	①
	NHK教育・東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	テレビ埼玉	③
	放送大学	⑫
千葉	NHK総合・東京	①
	NHK教育・東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	ちばテレビ	③
	放送大学	⑫
東京	NHK総合・東京	①
	NHK教育・東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	東京MXテレビ	⑨
	放送大学	⑫
神奈川	NHK総合・東京	①
	NHK教育・東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	tvk	③
	放送大学	⑫
新潟	NHK総合・新潟	①
	NHK教育・新潟	②
	BSN	⑥
	NST	⑧
	TeNYテレビ新潟	④
	新潟テレビ21	⑤

都道府県名	放送局名	数字ボタン
富山	NHK総合･富山	③
	NHK教育･富山	②
	KNB北日本放送	①
	BBT富山テレビ	⑧
	チューリップテレビ	⑥
石川	NHK総合･金沢	①
	NHK教育･金沢	②
	テレビ金沢	④
	北陸朝日放送	⑤
	MRO	⑥
	石川テレビ	⑧
福井	NHK総合･福井	①
	NHK教育･福井	②
	FBCテレビ	⑦
	福井テレビ	⑧
山梨	NHK総合･甲府	①
	NHK教育･甲府	②
	YBS山梨放送	④
	UTY	⑥
長野	NHK総合･長野	①
	NHK教育･長野	②
	テレビ信州	④
	ABN長野朝日放送	⑤
	SBC信越放送	⑥
	NBS長野放送	⑧
静岡	NHK総合･静岡	①
	NHK教育･静岡	②
	SBS	⑥
	テレビ静岡	⑧
	静岡第一テレビ	④
	静岡朝日テレビ	⑤
岐阜	NHK総合･岐阜	③
	NHK教育･名古屋	②
	東海テレビ	①
	CBC	⑤
	メ～テレ	⑥
	中京テレビ	④
	岐阜テレビ	⑧
愛知	NHK総合･名古屋	③
	NHK教育･名古屋	②
	東海テレビ	①
	CBC	⑤
	メ～テレ	⑥
	中京テレビ	④
	テレビ愛知	⑩
三重	NHK総合･津	③
	NHK教育･名古屋	②
	東海テレビ	①
	CBC	⑤
	メ～テレ	⑥
	中京テレビ	④
	三重テレビ	⑦
滋賀	NHK総合･大津	①
	NHK教育･大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	BBCびわ湖放送	③
京都	NHK総合･京都	①
	NHK教育･大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	KBS京都	⑤

都道府県名	放送局名	数字ボタン
大阪	NHK総合･大阪	①
	NHK教育･大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	テレビ大阪	⑦
兵庫	NHK総合･神戸	①
	NHK教育･大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	サンテレビ	③
奈良	NHK総合･奈良	①
	NHK教育･大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	奈良テレビ	⑨
和歌山	NHK総合･和歌山	①
	NHK教育･大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	テレビ和歌山	⑤
鳥取	NHK総合･鳥取	③
	NHK教育･鳥取	②
	山陰中央テレビ	⑧
	BSSテレビ	⑥
	日本海テレビ	①
島根	NHK総合･松江	③
	NHK教育･松江	②
	山陰中央テレビ	⑧
	BSSテレビ	⑥
	日本海テレビ	①
岡山	NHK総合･岡山	①
	NHK教育･岡山	②
	RNC西日本テレビ	④
	KSB瀬戸内海放送	⑤
	RSKテレビ	⑥
	テレビせとうち	⑦
	OHKテレビ	⑧
広島	NHK総合･広島	①
	NHK教育･広島	②
	RCCテレビ	③
	広島テレビ	④
	広島ホームテレビ	⑤
	TSS	⑧
山口	NHK総合･山口	①
	NHK教育･山口	②
	KRY山口放送	④
	TYSテレビ山口	③
	YAB山口朝日	⑤
徳島	NHK総合･徳島	③
	NHK教育･徳島	②
	四国放送	①
香川	NHK総合･高松	①
	NHK教育･高松	②
	RNC西日本テレビ	④
	KSB瀬戸内海放送	⑤
	RSKテレビ	⑥
	テレビせとうち	⑦
	OHKテレビ	⑧

都道府県名	放送局名	数字ボタン
愛媛	NHK総合･松山	①
	NHK教育･松山	②
	南海放送	④
	愛媛朝日	⑤
	あいテレビ	⑥
	テレビ愛媛	⑧
高知	NHK総合･高知	①
	NHK教育･高知	②
	高知放送	④
	テレビ高知	⑥
	さんさんテレビ	⑧
福岡	NHK総合･福岡 NHK総合･北九州	③
	NHK教育･福岡 NHK教育･北九州	②
	KBC九州朝日放送	①
	RKB毎日放送	④
	FBS福岡放送	⑤
	TVQ九州放送	⑦
	TNCテレビ西日本	⑧
佐賀	NHK総合･佐賀	①
	NHK教育･佐賀	②
	STSサガテレビ	③
長崎	NHK総合･長崎	①
	NHK教育･長崎	②
	NBC長崎放送	③
	KTNテレビ長崎	⑧
	NCC長崎文化放送	⑤
	NIB長崎国際テレビ	④
熊本	NHK総合･熊本	①
	NHK教育･熊本	②
	RKK熊本放送	③
	TKUテレビ熊本	⑧
	KKTくまもと県民	④
	KAB熊本朝日放送	⑤
大分	NHK総合･大分	①
	NHK教育･大分	②
	OBS大分放送	③
	TOSテレビ大分	④
	OAB大分朝日放送	⑤
宮崎	NHK総合･宮崎	①
	NHK教育･宮崎	②
	MRT宮崎放送	⑥
	UMKテレビ宮崎	③
鹿児島	NHK総合･鹿児島	③
	NHK教育･鹿児島	②
	MBC南日本放送	①
	KTS鹿児島テレビ	⑧
	KKB鹿児島放送	⑤
	KYT鹿児島読売TV	④
沖縄	NHK総合･那覇	①
	NHK教育･那覇	②
	RBCテレビ	③
	QAB琉球朝日放送	⑤
	沖縄テレビ(OTV)	⑧

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
  ただし、液晶パネルは2年間。
- 本機のメモリーに保存されたデータは、保証の対象外です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「操作·困ったときは編」の「困ったときは」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
BSデジタル、110度CSデジタルの放送局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社、B-CASカスタマーセンター(電話番号0570-000-250)に問い合わせてください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは、保証書をご覧ください。
何らかの原因でコンテンツが外部メディアや外部記録機器(“メモリースティック”、デジタルレコーディングハードディスクドライブなど)に記録できなかった場合や、外部メディア·外部記録機器に記録されたコンテンツが破損または消去された場合など、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名: KDL-40X1000
KDL-46X1000

型名について詳しくは、☞「操作·困ったときは編」の「修理に出す前に」をご覧ください。

故障の状態:できるだけ詳しく
購入年月日:

お買い上げ店 TEL.
お近くのサービスステーション TEL.

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

主な仕様

システム

受信方式　NTSC方式
地上デジタル放送方式
BSデジタル放送方式
110度CSデジタル放送方式

受信チャンネル　VHF 1 ～ 12チャンネル
UHF 13 ～ 62チャンネル
CATV（ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要）
地上アナログ：C13 ～ C63
地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタル（テレビ、ラジオ、独立データ）の各チャンネル

BSデジタル・110度CSデジタル対応周波数
1022 ～ 2072 MHz

BSデジタル・110度CSデジタル対応ローカル周波数
10.678 GHz

使用スピーカー　フルレンジ 5.5×12cm 楕円（2）
ツイーター 5.0cm 丸（2）

音声出力　実用最大出力：
25W＋25W（JEITA）
負荷インピーダンス 6Ω×2

入出力端子

アンテナ端子　VHF/UHF、BS/110度CS IF 75Ω
F型コネクター
（コンバーター用電源出力、DC15/11V最大4W、芯線側＋、オート/入/切、メニュー切り換え）

ビデオ1 ～ 3入力端子
S2映像：
4ピンミニDIN
Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C：0.286Vp-p
（バースト信号）、75Ω
映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上

コンポーネント1、2入力端子
D5映像：
D端子
Y：1Vp-p（0.3V負同期付き）
P_B/P_R、C_B/C_R：±350mVp-p
入力インピーダンス 75Ω
音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上

HDMI1、2入力端子
映像：デジタルRGB/
Y C_B（P_B） C_R（P_R）
音声：PCM
（32kHz、44.1kHz、48kHz）

デジタル放送/ビデオ出力端子
S2映像：
4ピンミニDIN
Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C：0.286Vp-p
（バースト信号）、75Ω
映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、
インピーダンス 4.7kΩ以下
テレビ放送の音声の100%変調時、またはBSデジタル放送の最大出力 －12dB時の数値です。

音声出力（可変/固定）端子
2ch出力、ピンジャック、
最大出力レベル 2.0Vrms、
出力インピーダンス 5kΩ

ヘッドホン端子　ステレオミニジャック、
負荷インピーダンス 16Ω以上

光デジタル音声出力端子
角型端子、AAC/PCM対応

電話回線端子　モジュラージャック、
直流抵抗値 262Ω

LAN（10/100）端子　10 BASE-T/100 BASE-TXコネクター
（ネットワークの使用環境により、接続速度に差が生じることがあります。本機は10 BASE-T/100 BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。）

i.LINK端子　4ピン　S400（3）

AVマウス端子　ミニジャック

コントロールS入/出力端子
ミニジャック

サブウーファー出力（可変）端子
ピンジャック

PC入力端子　RGB映像：
Mini D-Sub15ピン
RGB信号：0.7Vp-p、75Ω
同期信号：TTLレベル、2.2kΩ
音声：ステレオミニジャック、
500mVrms、
インピーダンス 47kΩ以上

USB端子　Hi-Speed USB

次のページにつづく⇨

電源部・その他

モデム通信速度　56kbps
消費電力　KDL-40X1000：285W
KDL-46X1000：340W
消費電力（リモコン待機時）：
KDL-40X1000、
KDL-46X1000共通です。
約0.05W
ただし、以下の電源スタンバイ中は、消費電力が異なります。
予約した録画の実行中：40W
i.LINKムーブ中：40W
i.LINK待機中：40W
緊急警報放送待機中：13W
番組表（EPG）取得中：40W

最大外形寸法（最大突起部分を除く）
（幅×高さ×奥行き）
KDL-40X1000
112.0×62.4×10.6cm
112.0×71.2×30.0cm
（スタンド含む）
KDL-46X1000
125.0×70.1×10.9cm
125.0×78.9×30.0cm
（スタンド含む）
質量　KDL-40X1000
30.2kg
36.0kg（スタンド含む）
KDL-46X1000
37.6kg
43.4kg（スタンド含む）
電源　AC100V、50/60Hz
付属品　「付属品を確かめる」（☞18ページ）をご覧ください。

別売りアクセサリー

2005年8月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

フロアスタンド　SU-FL51
壁掛けユニット　SU-WL51
接続ケーブルなど　VM-50（AVマウス）
衛星アンテナなど

- 「JIS C 61000-3-2適合品」です。
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- 本製品の一部には、Independent JPEG Groupの研究成果を使用しています。
- i.LINKは、IEEE1394-1995とIEEE1394a-2000を 示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ "i" は商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、ProLogic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 、"XMB"、および"xross media bar"は、ソニー株式会社および株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です。
- "Memory Stick"（"メモリースティック"）および は、ソニー株式会社の商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.の日本国内における登録商標です。
Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- HDMI、HDMI、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または、登録商標です。
- DLNA and DLNA CERTIFIED are trademarks and/or service marks of Digital Living Network Alliance.
- 本機は電気通信事業法の規定に基づく技術基準適合認定モデルです。

機器名	認証番号
KDL-40X1000/ KDL-46X1000	A05-0153005

- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語集

五十音順

ア行

アンテナレベル（☞41、44ページ）

アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

ウーファー（☞79ページ）

低音再生専用のスピーカーユニットのことです。迫力や臨場感などを効果的に再現します。

カ行

ケーブルテレビ（CATV）（☞27、29、32、38、41ページ）

契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。地上アナログのテレビ番組や地上デジタル、BSアナログに加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

ゴースト（☞39ページ）

放送局からの電波が、テレビアンテナに届く前に、建物や地形の影響で妨害波となり、時間がズレて二重、三重に受信されることです。そのため、正しく送られてきた画像に妨害波の画像が重なって表われた、見にくい画面となります。

サ行

シンクロ録画（☞54ページ）

テレビから録画する番組の信号が、録画機器の入力端子に入力されると、録画機器側で自動で録画を開始する機能。

タ行

地上デジタル放送

2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタル放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。
デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質·高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV（高精細度テレビ）や、また文字や画像などのデータ放送などがあります。

デジタルCS放送（☞27ページ）

110度CSデジタル放送ではなく、SKY PerfecTV!のことです。
通信衛星を使ったCS放送の一種です。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声をデジタル化することで、大量の情報を扱えます。これにより、多チャンネルの放送を高画質·高音質で楽しめます。

デジタルハイビジョン信号HD

デジタル放送の画像方式で、1125iと750pがあり、大画面になっても走査線（テレビ画面を水平に走る線）が目立たなく、35mm映画なみの臨場感あふれる高精細画質を楽しめます。

データ放送（☞28ページ）

放送波で情報を伝送し、ニュースや気象情報などを提供するサービス。双方向通信を使ったショッピングや視聴者参加番組などのデータ放送もある。

ハ行

光デジタル音声出力（☞61、79ページ）

音声信号をデジタル形式のまま出力できるため、劣化がなく高品質の音声を楽しめます。

標準テレビ信号SD

デジタル放送の画像方式で、525pと525iがあり、525iは地上アナログと同等の画質です。

数字·アルファベット順

110度CSデジタル放送

2002年3月から始まった、110度デジタル衛星N-SAT-110によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質·高音質で楽しめます。文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質な放送などがあります。

5.1ch（チャンネル）

左フロント、右フロント、センター、左リア、右リアの5本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ独立した音声を出力できるサラウンド方式です。
本機の光デジタル音声出力端子に5.1ch対応のオーディオ機器をつなぐと、本機が受信した5.1chサラウンドの音声を楽しめます。

AAC

デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド·オーディオ·コーディング（Advanced Audio Coding）」の略で、高い圧縮率で音楽CD並みの音質を実現します。

B-CASカード（デジタル放送用ICカード）（☞24ページ）

プラスチック·カードに集積回路を埋め込んだものです。チャンネルの契約、購入内容などの情報がB-CASカードに記憶されます。記憶された情報は、電話回線を通じて放送局に送信されます。

BSデジタル放送

2000年12月から始まった、放送衛星（BS）によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質·高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV（高精細度テレビ）や、また文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質な放送などがあります。

次のページにつづく ⇨

DLNAガイドライン(☞63ページ)

「デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス(Digital Living Network Alliance)」の略で、パソコン業界と家電業界の企業により、ホームネットワーク環境でデジタルAV機器同士や、パソコンを相互に接続することを目的として結成した団体のことです。DLNAガイドラインは、静止画や音楽、動画のファイルフォーマットなどを規定し、これらのコンテンツを家庭内のどこからでもアクセスできるようにするための技術ガイドラインです。

D端子(☞52、78ページ)

デジタルCS放送やDVDプレーヤーなどに対応したコンポーネント映像端子です。デジタルCSチューナーやDVDプレーヤーなどと、1本のケーブルで簡単に映像信号を接続できます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。
D端子には対応する信号フォーマットによって、次の種類があります。
本機にはD5入力端子が付いています。

- D1端子: 525i(480i)の信号に対応
- D2端子: 525i(480i)と525p(480p)の信号に対応
- D3端子: 525i(480i)と 525p(480p)、1125i(1080i)の信号に対応
- D4端子: 525i(480i)と525p(480p)、1125i(1080i)、750p(720p)の信号に対応
- D5端子:525i(480i)と525p(480p)、1125i(1080i)、750p(720p)、1125p(1080p)の信号に対応

iはインターレース、pはプログレッシブの略です。
( )内は有効走査線数で数えたときの別称です。

Gガイド(☞40、66ページ)

(株)インタラクティブ・プログラム・ガイドがサービス主体となり、特定の放送局の放送波を利用して番組表を送信するサービスです。
番組表のデータ送信は(株)インタラクティブ・プログラム・ガイドとデータ送信を行う放送局側で行われているため、都合によりデータが送信されない場合もあります。

HDMI(☞52、77ページ)

テレビ接続機器のデジタル映像・音声信号を直接つなぐインターフェースです。HDMI端子(DVDプレーヤー、AVアンプなど)とテレビを1本のケーブルで接続することで高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。
対応している映像信号:
525i(480i)、525p(480p)、1125i(1080i)、750p(720p)、1125p(1080p)
対応している音声信号:
リニアPCM 32kHz、44.1kHz、48kHz

ID-1方式(ビデオID-1システム)(☞78、80ページ)

ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比(16:9、4:3またはレターボックス)の情報を記録するシステムの名前です。本機はID-1方式に対応しています。ID-1方式対応のビデオカメラやビデオデッキなどを、本機のビデオ1～3入力端子につなぐと、ID-1方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

i.LINK(☞55、62、77、80ページ)

i.LINK(アイリンク)および はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

LINC(リンク)

LINCは、Logical Interface Connection(ロジカル・インターフェース・コネクション:「論理的な接続を行う」の意)の略です。

Mbps(メガビーピーエス)

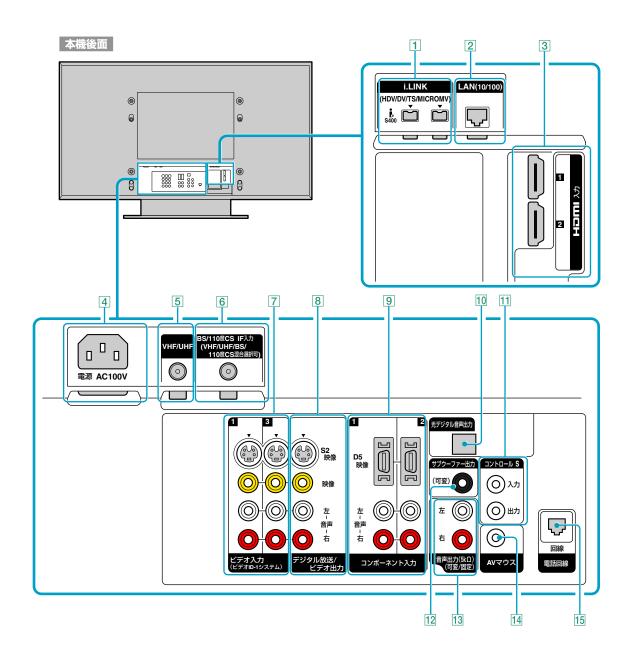
Mbps(メガビーピーエス)とは、「Mega bits per second」の略で、1秒間に通信できるデータの容量を示しています。400Mbpsでは、1秒間に400メガビットのデータを転送します。

PCM

アナログ音声をデジタル音声に変換する方式です。「パルス・コード・モジュレーション(Pulse Code Modulation)」の略で、手軽にデジタル音声を楽しめます。

S2方式(S2映像端子)(☞53、78、80ページ)

S映像のC端子へ直流電圧を重畳することにより、画面の横縦比(16:9または4:3)の情報を記録するシステムの名前です。
縦長に圧縮された画像は「フル」モードに、レターボックスの映像は「ズーム」モードに自動的に戻す識別制御信号が入っています。本機はS2方式に対応しています。
S2映像出力端子が付いたビデオカメラなどを、本機のS2映像入力端子につなぐと、S2方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

接続端子の名前とはたらき

☞のページに詳しい説明があります。

1 i.LINK S400(HDV/DV/TS/MICROMV)端子(☞62ページ)

ハードディスクレコーダーやブルーレイディスクレコーダー、D-VHSビデオなどのi.LINK対応機器とつなぎます。
デジタル信号を入出力します。詳しくは、「i.LINK(アイリンク)機器をつなぐ」(☞62ページ)をご覧ください。

2 LAN(10/100)端子(☞29、63ページ)

別売りのネットワーク(LAN)ケーブルを使って、モデムやルーターにつなぎます。

3 HDMI1、2入力端子(☞52ページ)

DVDプレーヤーやAVアンプのHDMI出力端子につなぎます。デジタル映像·音声信号を入力します。
対応している映像信号:525i（480i)、525p（480p)、1125i（1080i)、750p（720p)、1125p（1080p）
対応している音声信号:リニアPCM 32kHz、44.1kHz、48kHz

4 電源AC100V入力端子(☞30ページ)

付属の電源コードをつなぎます。

5 VHF/UHFアンテナ入力端子(☞26ページ)

アンテナケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

次のページにつづく⇨

接続端子の名前とはたらき(つづき)

☞のページに詳しい説明があります。

6 BS/110度CS IF入力端子(VHF/UHF/BS/110度CS混合選択可)(☞25ページ)

地上波・衛星混合アンテナまたは衛星アンテナからの同軸ケーブルをつなぎます。衛星アンテナ用の電源を供給するため、DC15/11Vの直流電圧が出ています。

ご注意

VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルは絶対につながないでください。

7 ビデオ1、3入力端子(S2映像/映像/音声)(ビデオID-1システム)(☞53ページ)

ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどのビデオ機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につなぎます。

8 デジタル放送/ビデオ出力端子(S2映像/映像/音声)(☞56ページ)

ビデオデッキなどのビデオ入力端子につなぎます。
地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル、ビデオ1～3入力*の信号が出力されます。デジタル放送の録画予約実行中は映像・音声が固定されます。

* ただし、ビデオ1入力の信号については、ホームメニューで「ビデオ1出力の設定」を「ビデオ1出力あり」に設定してください(☞「操作・困ったときは編」の「外部入出力の設定をする」)。

ホームメニューから「(設定)」→「(外部入出力の設定)」→「ビデオ1出力の設定」→「ビデオ1出力あり」の順に選ぶ。

9 コンポーネント1、2入力端子(D5映像/音声)(☞52、53、56、57ページ)

デジタルCSチューナーやビデオ機器などのD映像出力端子につなぎます。

音声入力端子

デジタルCSチューナーやビデオ機器などの音声出力端子につなぎます。

D端子について

デジタル放送には次のような信号フォーマットがあります。

信号フォーマット	走査線数	有効走査線数
525i(480i)	525本	480本
525p(480p)	525本	480本
1125i(1080i)	1125本	1080本
750p(720p)	750本	720本
1125p(1080p)	1125本	1080本

iはインターレース:飛び越し走査、pはプログレッシブ:順次走査の略です。
( )内は有効走査線数で数えたときの別称です。

デジタル放送の信号フォーマットに対応するD端子の種類は次のようになっています。

D端子の種類とその対応信号フォーマット

D端子の種類	525i	525p	1125i	750p	1125p
D1端子	○	×	×	×	×
D2端子	○	○	×	×	×
D3端子	○	○	○	×	×
D4端子	○	○	○	○	×
D5端子	○	○	○	○	○

ご注意

- コンポーネント入力端子、HDMI入力端子につないだ機器の映像・音声信号は出力されません(8)。
- 字幕放送やi.LINKで録画した番組の字幕の映像信号は出力されません(8)。
- デジタル放送のラジオやデータの音声は記録できますが、画像は正しく記録されません(8)。
- i.LINKで録画したデジタル放送のラジオやデータの音声は、記録できますが、画像は正しく記録されません(8)。
- S2映像出力端子からは、デジタル放送の映像とビデオ1～3入力のS2映像入力端子につないだ機器の映像のみが出力されます(8)。
- 通常は、画面に映っている映像と音声を出力します。ただし、録画実行中は画面に映っている映像と音声には関係なく、録画しているチャンネルの映像と音声が出力されます(8)。

☞のページに詳しい説明があります。

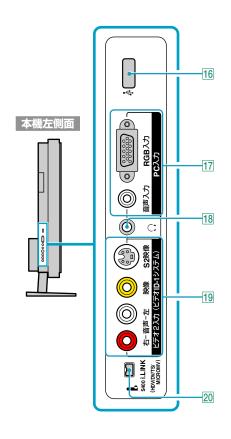
10 **光デジタル音声出力端子**
（☞61ページ）
AVアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキなどの、光デジタル音声入力端子につなぎます。
デジタル放送のデジタル音声が出力されます。
また、地上アナログやビデオ機器などからのアナログ音声などはPCM音声（2ch）のデジタル信号に変換して出力されます。

11 **コントロールS入力/出力端子**
ソニー製機器のコントロールS端子とつなぎます。
詳しくは、☞「操作・困ったときは編」の「本機のリモコンで他機器を操作する」をご覧ください。

12 **サブウーファー出力（可変）端子**
サブウーファーの入力端子とつなぎます。

13 **音声出力（5kΩ）（可変/固定）端子（左/右）**
（☞61ページ）
オーディオ機器の音声入力端子につなぎます。
録画予約（☞「操作・困ったときは編」の「録画予約する」）の設定に関係なく、選んでいるチャンネルや入力の音声が出力されます。

14 **AVマウス端子**
（☞58ページ）
付属のAVマウスをつなぎます。

15 **電話回線端子（☞28ページ）**
付属のモジュラーテレホンコードカプラーを使って電話コンセントにつなぎます。また、ISDN回線をお使いのときは、ターミナルアダプターのアナログポートにつなぎます。ADSL回線をお使いのときは、スプリッターと市販のモジュラーテレホンコードカプラーを使ってつなぎます。

16 ●⇠（USB）端子（☞65ページ）
デジタルカメラなどUSB端子のある機器につなぎます。自分で撮影した写真や映像などを本機に映せます。
詳しくは、☞「操作・困ったときは編」をご覧ください。

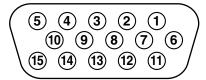
次のページにつづく⇨

接続端子の名前とはたらき（つづき）

☞のページに詳しい説明があります。

17 PC入力端子（RGB入力/音声入力）
（☞65ページ）

RGB入力端子
別売りのMini D-Sub15 - Mini D-Sub15ディスプレイケーブル（アナログRGB）を使って、パソコンのD-SUB出力端子につなぎます。Macintoshコンピューターにつなぐときは、必要に応じて市販のアダプターをお使いください。

端子ピン配列

ピン番号	入力信号名
1	Rビデオ信号入力
2	Gビデオ信号入力
3	Bビデオ信号入力
4	グランド
5	グランド
6	グランド
7	グランド
8	グランド
9	DDC 5V 入力
10	グランド
11	グランド
12	DDC データ
13	水平同期信号
14	垂直同期信号
15	DDCクロック

音声入力端子
別売りの音声コード（ステレオミニプラグ）を使って、パソコンの音声出力端子につなぎます。

18 ヘッドホン端子
ヘッドホンをつなぎます。

19 ビデオ2入力端子（S2映像/映像/音声）（ビデオID-1システム）
（☞53ページ）
テレビゲームやビデオカメラレコーダーなどのビデオ出力端子につなぎます。

20 i.LINK S400（HDV/DV/TS/MICROMV）端子（☞62ページ）
MICROMV方式またはDV方式のデジタルビデオカメラレコーダーなどのi.LINK対応機器とつなぎます。デジタル信号を入出力します。詳しくは、「i.LINK（アイリンク）機器をつなぐ」（☞62ページ）をご覧ください。

索引（設置・接続編）

五十音順

あ行

アース線 30
アッテネーター................. 38、42、45
アフターサービス 72
暗証番号 50
アンテナケーブル ....18、25
アンテナ接続方法 ....25、38
アンテナ変換アダプター 18
アンテナレベル.......... 31、41、44、75
インターネット................................29
衛星アンテナ
　設定 44
　調整 44
　つなぐ..26
オーディオ機器................................61
オートステレオ................................39

か行

ガイドチャンネル一覧 66
かんたん設定..................................31
共同受信システム 25
ケーブルテレビ................ 29、41、75
ゴースト ....39、75
個人情報を消去する 51
コンバーター電源 44
コンポーネント.........................52、78

さ行

サテライト用同軸ケーブル................26
視聴年齢制限..................................50
初期設定 31
シンクロ録画..................................54
スター・チャンネル...........................35
接続端子の名前とはたらき 77
双方向通信 28

た行

ダウンロード..................................49
地域設定 .... 31、42、45
地域番号設定............................31、40
地上アナログ............. 31、38、39、40
地上デジタル............. 25、41、43、75
地上デジタル放送・地域別チャンネル
　割り当て一覧表 70
チャンネル
　自動設定...................... 31、38、41
　手動設定...................... 39、43、46
チャンネルサーバー 53
通信設定 ....36、48
通常発信 36
テーブルトップスタンド 19
デジタルCSチューナー 53
デジタルCS放送.......................27、75
テレホンコード...............................18
電源コード.............................18、30
電話回線
　設定 36
　つなぐ..28
電話番号非通知...............................37

な行

ネットワーク...........................29、63
ネットワーク（LAN）ケーブル .....29、63

は行

ハードディスクレコーダー
　................................. 55、56、62
パソコン ....63、65
ビープ音 ....41、44
光デジタル..............................61、79
光ファイバー回線 29
ビデオ
　つなぐ................. 25、26、53、56
付属品 18
ブルーレイディスクレコーダー
　.......................... 52、55、56、62
プロキシ設定..................................49
保証書 72

ま行

マイラインプラス 37
モジュラージャック 28
モジュラーテレホンコードカプラー ...18
モデム ....29、63

や行

郵便番号設定..................................42

ら行

リモコン 18
ルーター ....29、63
録画予約 54

数字・アルファベット順

数字

0発信 36
10pps 36
110度CSデジタル..... 27、44、46、75
20pps 36
9発信 36

アルファベット

ADSL回線 29
AVアンプ.......................................61
AVマウス................. 18、54、56、58
B-CASカード ....24、75
BSデジタル .... 44、46、75
BSデジタル・110度CSデジタル
　加入申込 35
CATV............................ 31、41、75
D-VHSビデオ ....55、62
DVDプレーヤー ....52、53
DVDレコーダー 56
DV方式デジタルビデオカメラ
　レコーダー 62
D端子 .... 52、76、78
Gガイド ....40、66
HDMI .... 52、76、77
i.LINK
　つなぐ.......................................62
　録画予約...................................55
ICカード ....24、75
IPアドレス....................................48
ISDN回線.......................................28
LAN..29
MICROMV方式デジタルビデオ
　カメラレコーダー 62
PC入力 65
SKY PerfecTV!110........................35
S映像 53
USB 65
WOWOW 35

その他